

消 防 年 報

令 和 元 年 版



第4回気仙沼・南三陸フォトコンテスト 「暮れる気仙沼港」 村上宏之 氏

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部
(令和2年刊行)

は し が き

この消防年報は、気仙沼・本吉地域広域行政事務組合の消防事情を広く紹介するとともに、消防行政の資料として活用するために当組合の現勢並びに令和元年中の消防業務の実態を収録したものです。

本書により消防の実態をご理解いただき、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年8月

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

目 次

沿 革	1
圏域管内図，位置及び管内情勢	14
組合組織図	15
庁舎，待機宿舎の位置	16
総 務	
予 算	
令和2年度当初歳入歳出予算	17・18
令和2年度（当初）組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳	19
令和2年度（当初）構成市町の一般会計と消防予算	19
令和元年度（決算）構成市町負担金負担割合	19
決 算	
令和元年度歳入歳出決算	20・21
職 員	
配 置 状 況	22
階級別勤続年数	23
階級別年齢	24
年齢構成図	25
学校等教育状況	26
資格取得状況	27
予 防	
防 火 対 象 物	
消防法第17条対象物数	29
用途別消防用設備等の設置状況	30
用途別予防査察状況	31
用途別中高層建築物の現況	32
防火管理者を要する対象物	33
建 築 同 意 事 務	34
危 険 物	
危 険 物 施 設	35
危険物施設の予防査察実施状況	36
危険物事務処理件数	37
民間防火組織	
危険物安全協会結成状況	38
婦人防火クラブ結成状況	38

防火管理者協会結成状況	38
幼年消防クラブ結成状況	39
少年消防クラブ結成状況	39

警 防

消 防 車 両

消防車両等の配置状況	41
消防車両等の配置現況	42

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員	43
署所及び動力消防ポンプの基準と現有	44

消 防 水 利

管内水利状況	45
--------	----

通 信

通信施設の現況	47
119 番受信件数	48・49
通 信 系 統 図	50

気 象

気 象 統 計	51
気象情報等受信件数	52

管内消防団

組 織 機 構 図	53・54
組 織	55
階級別消防団員数	55
年齢別消防団員数	55
在職年数別消防団員数	56
消防団員報酬	56
消防施設の現況	56

火災・救急・救助統計

火 災 統 計

火災件数及び損害額の推移	57
火災発生状況（署所別）	58
〃 （覚知別）	59
〃 （月 別）	60・61
月別火災発生状況	62
曜日別火災発生状況	63

時間別火災発生状況	63
原因別火災発生状況・損害額	64
建物用途別火災発生状況（火元）	65

救 急 統 計

救急概況	66
事故種別活動状況	67
署所別事故別活動状況	68
署所別救急活動状況	69
月別出場件数	70
時間別出場件数	71
曜日別搬送人員	72
年齢区分・傷病程度別搬送人員	73
年齢区分別搬送人員	74
医療機関別搬送人員	75
覚知別出場状況，不搬送理由，診療科目別搬送状況，その他の統計	76
救急活動の推移	77

救 助 統 計

事故種別救助活動状況	78
救助活動の推移	79

防災センター

防災センターの概要	81
月別・地域別利用状況	82
月別・曜日別利用状況	83
利用者別状況	84
主 な 備 蓄 品	84

沿革

昭和46年 7月21日	宮城県知事から広域市町村圏の指定を受ける。
8月 2日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合設立。
昭和47年 4月 1日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部発足。
〃	初代消防長に加藤留七就任。
〃	広域消防職員として前気仙沼市消防本部職員 55 人を任用，18 人新規採用。（消防職員定数 155 人）
4月10日	宮城県より危険物規制事務を引き継ぐ。
4月15日	消防常備化市町村の指定（郡内 5 町）を受ける。
8月 4日	消防職員 16 人を採用。
12月 1日	広域消防の業務開始。（1 本部，2 消防署，1 分署，4 出張所）
12月 4日	消防職員 15 人を採用。
12月20日	志津川消防署庁舎落成。
12月25日	志津川消防署津山出張所庁舎落成。
昭和48年 1月 7日	気仙沼消防署本吉分署庁舎落成。
1月18日	志津川消防署歌津出張所庁舎落成。
1月24日	広域消防間の相互応援協定締結。（石巻，塩釜，登米，大崎の各広域消防本部）
1月25日	気仙沼消防署唐桑出張所庁舎落成。
1月30日	管内各消防無線固定局開局。
1月31日	広域消防開庁祝賀会。
3月15日	気仙沼消防署に救急自動車 1 台配置。
3月23日	広域消防間の相互応援協定締結。（岩手県両磐地区，陸前高田市の各消防本部）
3月25日	財日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け，気仙沼消防署に配置。
4月 2日	消防職員 21 人を採用。
4月24日	気仙沼本吉地区危険物安全協会結成。
6月20日	救急業務市町村の指定（郡内 5 町）を受ける。
7月19日	干害対策本部を設置。
8月 2日	消防職員 14 人を採用。
8月23日	志津川消防署に消防ポンプ自動車 1 台を配置。
10月 1日	気仙沼海上保安署と業務協定締結。
昭和49年 3月 2日	消防職員（船舶職員）3 人を採用。
3月31日	気仙沼消防署「望楼」勤務を廃止。（昭和 12 年建設，昭和 60 年撤去）
4月 4日	消防職員 10 人を採用。
4月16日	気仙沼消防署臨港出張所落成。
〃	消防艇「あさぎり」配置。
7月30日	第 1 回消防職員技術大会実施。（以後毎年実施）
12月 5日	志津川町防火管理者協会結成。
昭和50年 3月14日	気仙沼市で市民消防学校を開催。

昭和50年 6月 2日	消防職員 1 人を採用。
6月10日	昭和 50 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市内の脇地区において実施。
7月 1日	消防職員 1 人を採用。
9月11日	(財)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 1日	第 2 代消防長に村上栄就任。
11月13日	「第 8 なか丸」歌津沖で転覆事故。気仙沼港に曳航、人命搜索救助活動を行う。
昭和51年 3月23日	志津川町で町民消防学校を開催。
6月 8日	消防本部庁舎増築落成。
8月20日	本吉町防火管理者協会結成。
12月 2日	気仙沼市大島地区に駐在員 2 人を派遣。
12月10日	本吉町で町民消防学校を開催。
12月18日	唐桑町で町民消防学校を開催。
昭和52年 2月 1日	消防音楽隊を結成。(隊員 25 人)
3月11日	歌津町で町民消防学校を開催。
3月19日	津山町で町民消防学校を開催。
3月30日	気仙沼信用金庫から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月11日	津山町防火管理者協会結成。
10月28日	気仙沼消防署と志津川消防署に作業車を更新配置。
11月 2日	気仙沼消防署に指令車を更新配置。
11月12日	唐桑町防火管理者協会結成。
11月19日	気仙沼市大島地区で市民消防学校を開催。
昭和53年 4月 1日	消防職員 3 人を採用。
4月 3日	消防本部と志津川消防署の消防救急通信指令装置が完成。
6月12日	宮城県沖地震。
7月27日	第 7 回全国消防救助技術大会(千葉市)において水中検索の部に高崎秀敏消防士出場。
12月 1日	広域行政事務組合が理事制に移行。
昭和54年 3月20日	本吉町で同時大規模林野火災発生。(12ha・5 ha) 管内消防団、登米広域消防本部及び両磐広域消防本部の応援を受ける。
4月 6日	気仙沼消防署大島出張所庁舎落成。
4月20日	消防本部指令車を更新配置。
4月26日	昭和 54 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を歌津町田東山において実施。
6月16日	唐桑町で少年消防クラブ結成。
12月13日	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合職員互助会発足。
12月25日	(有)気仙沼モータースから人員搬送車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月26日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を更新配置。
〃	気仙沼消防署に屈折梯子車を配置。
昭和55年 5月29日	第 3 回全国消防職員意見発表大会(東京都)において錦部照夫消防士長最優秀賞を受賞。
6月 1日	志津川町、歌津町及び津山町の消防職員待機宿舎完成。
6月10日	消防本部に査察車を更新配置。

昭和55年 8月28日	(財)日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
9月 1日	昭和 55 年度宮城県総合防災訓練を気仙沼市館山地区で実施。
9月18日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所及び津山出張所に防火広報車を配置。
10月 1日	第3代消防長に畠山誠就任。
11月21日	歌津町防火管理者協会結成。
12月19日	気仙沼消防署南出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
12月27日	宮城県知事から空中消火用資機材の保管を委託され、志津川消防署で管理。
昭和56年 1月10日	(財)日本船舶振興会から防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
4月 1日	消防職員 4 人を採用。
6月 4日	歌津町で幼年消防クラブ結成。
8月11日	気仙沼本吉地区婦人防火クラブ連合会結成。(1市5町)
11月30日	気仙沼消防署本吉分署に査察車、志津川消防署に指令車を更新配置。
12月14日	(社)日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、志津川消防署津山出張所に配置。
昭和57年 2月25日	唐桑町の消防職員待機宿舎完成。
3月17日	気仙沼消防署本吉分署に救急自動車を更新配置。
3月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車を配置。
4月 1日	第4代消防長に川合昭伍就任。
〃	消防職員 3 人を採用。
4月11日	気仙沼市魚市場に係留中の「第 11 豊洋号」(ブンヤン号)においてアンモニアガス噴出事故発生。死者 8 人、負傷者 6 人。 この救助活動に従事した職員及び団体の功績に対し、(財)宮城県消防協会長から「功労章」、(財)日本消防協会長から「現場功労章」、宮城県知事から「顕彰状」、消防庁長官から「功績章」が授与され、内閣総理大臣から当消防本部に対して昭和 58 年度「防災功労章」が授与された。
6月10日	気仙沼市で幼年消防クラブ結成。
7月12日	津山町で幼年消防クラブ結成。
7月30日	第 25 回宮城県消防操法大会を気仙沼市で開催。
8月24日	(財)日本消防協会から緊急用ろ水器が寄贈され、気仙沼消防署と志津川消防署に配置。
9月 9日	「救急の日」制定。
12月 1日	気仙沼消防署に照明電源車を配置。
昭和58年 1月30日	志津川消防署に救急自動車を更新配置。
3月 9日	志津川町で幼年消防クラブ結成。
3月30日	本吉町の消防職員待機宿舎落成。
4月 1日	警防課に通信担当者 2 名を配置。
6月 2日	第 6 回全国消防職員意見発表大会(京都府)において芳賀保宏消防士優秀賞を受賞。
昭和59年 3月16日	宮城県知事から「林野火災特別地域」の指定を受ける。
4月 1日	消防職員 3 人を採用。
7月10日	宮城県防災気仙沼消防無線局を開局。
7月20日	本吉町で少年消防クラブ結成。

昭和59年12月 4日	本吉町で幼年消防クラブ結成。
昭和60年 2月 8日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車に配置。
2月15日	異常気象（厳冬による消防水利確保困難）のため「火災警報」を発令。
3月12日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車に配置。
4月 1日	消防職員 3 人を採用。
6月 1日	宮城県防災気仙沼消防無線局にファクシミリ開通。
8月 1日	消防衛生管理規程を制定。
8月19日	異常渇水のため消防対策本部を設置。（9月2日まで継続）
8月23日	第 14 回全国消防救助技術大会（広島市）において伊藤大志消防士「ロープ登はんの部」で入賞。
8月26日	（財）日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月 8日	第 32 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月25日	産業医（猪苗代勇医師）を嘱託。
11月27日	第 1 回「火災予防キャンペーン」実施。（以後毎年実施）
12月18日	国道 45 号線安波山トンネル開通に伴う関係機関合同総合訓練。（以後隔年実施）
昭和61年 1月 6日	消防出初式に「梯子乗り」登場。
3月 8日	「消防表彰式」を創設。（以後毎年実施）
3月10日	（財）日本自動車工業会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
3月27日	志津川消防署歌津出張所、津山出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月 1日	消防職員 2 人を採用。
8月 5日	台風 10 号くずれの低気圧により宮城県全域で大雨洪水による被害多発。
10月16日	気仙沼市で「幼年消防フェア」を開催。
11月27日	気仙沼消防署唐桑出張所、志津川消防署歌津出張所に広報車を更新配置。
〃	広域組合消防計画書を策定。
昭和62年 3月18日	気仙沼消防署に指令車更新配置。
3月26日	「火災警報」を発令。
5月15日	異常渇水のため消防対策本部を設置。
5月28日	第 10 回全国消防職員意見発表大会（横浜市）において佐藤武敏消防士長優秀賞受賞。
8月 1日	広域組合消防安全管理規程を制定。
8月12日	第 30 回宮城県消防操法大会を志津川町で開催。
9月 1日	（財）日本船舶振興会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月23日	気仙沼消防署、志津川消防署に作業車を更新配置。
11月 9日	「119 番の日」制定。
11月17日	（株）アーバンから防災指揮車の寄贈を受け、消防本部に配置。
12月19日	危険物安全協会創立 30 周年記念式典の開催。
昭和63年 4月 1日	東京消防庁への研修派遣制度導入。（計 8 人研修）
6月 4日	気仙沼市で少年消防クラブ結成。
8月19日	第 17 回全国消防救助技術大会（横浜市）において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
10月 7日	志津川消防署津山出張所に広報車を更新配置。

平成元年 1月29日	4週6休実施。
2月21日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
4月18日	平成元年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を気仙沼市太田放牧地において実施。
8月 8日	(有)気仙沼モータースへの車両整備技術取得研修派遣制度導入。(8名研修)
12月25日	唐桑町で幼年消防クラブ結成。
平成 2年 2月21日	広域組合の休日を決める条例を制定。
3月29日	消防訓練塔落成。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員2人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	消防職員3人を採用。
4月26日	第13回全国消防長会東北支部意見発表大会(新潟市)において森淳一消防士長優秀賞を受賞。
5月17日	第41回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
7月 6日	第15回宮城県消防救助技術指導会を気仙沼市で開催。
8月24日	第19回全国消防救助技術大会(広島市)において志津川消防署隊「ロープブリッジ救出の部」で入賞。
9月 1日	9. 1宮城県総合防災訓練を志津川町で開催。
平成 3年 2月25日	消防本部に人員輸送車配置。
〃	人員輸送車運行管理要綱制定。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員1人退職。(4月1日付で気仙沼市へ身分移管)
4月 1日	第5代消防長に若杉市郎就任。
〃	消防職員2人を採用。
〃	(財)日本消防協会へ1人を研修派遣。
8月28日	第20回全国消防救助技術大会(大阪府)において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
9月 9日	カメイ(株)から広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月 1日	消防職員高齢化対策で職員1人を広域組合に研修派遣。
〃	宮城県防災航空隊に職員1名派遣。
12月 9日	気仙沼消防署・本吉分署・志津川消防署・津山出張所に救急応急処置範囲の拡大に伴う9点セットを配置。
平成 4年 3月21日	岩手県東磐井郡室根村地内の大川にタンクローリー横転、重油流出により「大川油流出事故対策本部」を設置、消防職・団員及び自衛隊(第22普通科連隊)が災害復旧活動に従事。(4月14日対策本部解散) また、3月24日から3日間、広域消防相互応援協定に基づき、大崎広域消防本部・塩釜地区消防本部・両磐地区消防本部からのタンク車による応援を受けた。
3月31日	志津川消防署、気仙沼消防署本吉分署に指令車と査察車を更新配置。
〃	消防職員高齢化対策で職員4人退職。(4月1日付で広域組合・唐桑町・本吉町・津山町へ身分移管)
4月 1日	消防職員4人を採用。
〃	宮城県広域航空消防応援協定締結。

平成 4年 8月28日	第 21 回全国消防救助技術大会（千葉市）において伊藤大志消防士「ロープブリッジ渡過の部」で入賞。
9月 4日	財日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防本部に配置。
10月21日	第 8 回全国婦人消防操法大会（横浜市）において津山町婦人消防隊が準優勝。
10月30日	「広域組合設立・広域消防発足 20 周年記念式典」を開催。浅野大三郎消防庁長官が記念講演。
平成 5年 2月 1日	4 週 8 休実施。
2月 8日	気仙沼三菱自動車販売㈱より連絡広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所に配置。
3月31日	消防職員高齢化対策で職員 1 人退職。（4 月 1 日付で志津川町へ身分移管）
4月 1日	消防職員 1 人を採用。
〃	消防職員定数を 187 人に改正。
4月18日	津山町で大規模林野火災発生（10ha 焼失）管内消防団の応援を受ける。
10月 1日	気仙沼消防署唐桑出張所に救急自動車（2 B 型）を配置。
10月26日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成。
平成 6年 1月31日	気仙沼消防署南出張所廃止。
2月 1日	消防本部・気仙沼消防署新庁舎で業務開始。
〃	消防緊急通信指令施設開通式（119 番統合）。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター条例施行。
〃	気仙沼・本吉広域防災センター職員辞令交付（全員併任発令）。
〃	気仙沼消防署南町出張所設置（臨港出張所併合）職員 8 人配置。
2月28日	消防緊急通信指令施設（Ⅱ型）完成。
3月23日	気仙沼消防署に高規格救急自動車配置。
3月29日	消防本部・気仙沼消防署・広域防災センター新庁舎落成式。
4月 1日	消防職員 7 人を採用。
〃	警防課内に通信指令室勤務 6 名を配置、2 部制とした。
〃	「気仙沼・本吉広域防災センター」オープン。
4月17日	唐桑町漁火パーク「登山リフトカー」暴走事故。負傷者 31 名
5月25日	救急救命士国家試験（1 人）合格。（以降毎年度養成）
8月12日	異常渇水による消防対策本部設置（8 月 22 日まで）。
9月30日	財日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、気仙沼消防署に配置。
10月27日	第 50 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月13日	広域防災センター入館者 10,000 人達成。
平成 7年 2月 1日	地震津波災害警防計画を作成。
3月20日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
4月 1日	消防本部に通信指令室を設け室長及び通信情報係・通信管理係を置き、消防署に救急係・救助係を配置し、分署に警防係・予防係を配置。
〃	消防職員 8 人採用。
5月 9日	旅客船「くろさき」岸壁衝突事故。負傷者 149 人。
7月14日	広域防災センター入館者 20,000 人達成。

平成 7年 8月22日	当消防本部が緊急援助隊救急部隊に登録される。
8月25日	第 24 回全国消防救助技術大会（北九州市）において、志津川消防署隊「引揚救助の部」で入賞。
12月 1日	宮城県共済農業協同組合連合会から救急自動車の寄贈を受け、歌津出張所に配置。
12月15日	気仙沼消防署大島出張所に消防ポンプ自動車を更新配置。
平成 8年 4月 1日	第 6 代消防長に熊谷昭一就任。
〃	消防職員 7 人採用。
5月26日	広域防災センター入館者 30,000 人達成。
10月11日	消防職員委員会規則公布。
12月11日	第 1 回消防職員委員会開催。（以後毎年開催）
12月19日	第 1 回緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に参加。（仙台市 20 日まで）
平成 9年 1月 8日	志津川消防署に災害対応特殊救急自動車配置。
2月 3日	気仙沼消防署待機宿舍移転落成。
2月16日	広域防災センター入館者 40,000 人達成。
2月28日	気仙沼消防署臨港出張所廃止。
4月 1日	第 7 代消防長に藤原博就任。
〃	消防職員 6 人採用。
〃	給与振込開始。
7月25日	志津川消防署歌津出張所の広報車を更新、多機能型広報車を配置。
平成10年 2月 8日	広域防災センター入館者 50,000 人達成。
3月 1日	自動車電話・携帯電話 119 番受付業務を開始。
3月16日	気仙沼消防署に小型動力ポンプ付水槽車を配置。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
〃	通信指令室に 9 名を配置。
6月15日	志津川消防署津山出張所に多機能型消防広報車配置。
12月 7日	広域防災センター入館者 60,000 人達成。
12月22日	気仙沼消防署大島出張所に救急自動車（2 B 型）配置。
平成11年 1月25日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車（CD－Ⅱ型）配置。
4月 1日	消防職員 5 人採用。
〃	消防職員定数を 197 人に改正。
5月13日	第 59 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月12日	志津川消防署に資機材搬送車配置。
12月10日	志津川消防署津山出張所に高規格救急自動車配置。
12月31日	コンピュータ西暦 2000 年問題に伴う警戒。
平成12年 2月 1日	年間訓練計画に基づく水難救助訓練を開始。
3月10日	高速消防救急艇「あさざり」就航（19t）。
3月15日	志津川消防署歌津出張所新庁舎落成。
3月23日	広域防災センター入館者 70,000 人達成。
4月 1日	消防職員 5 人採用。

平成12年 4月 1日	権限移譲事務の開始。(煙火消費の許可事務, 建設用びょう打ち銃用空砲許可事務, 液化石油ガスの設備工事に関する事務)
4月27日	気仙沼消防署本吉分署に高規格救急自動車配置。
7月 7日	気仙沼消防署唐桑出張所に消防ポンプ自動車 (CD-I 型) 配置。
7月25日	第 41 回宮城県消防操法大会を歌津町で開催。
平成13年 3月31日	広域防災センター入館者 80,000 人達成。
4月 1日	消防職員 6 人採用。
〃	宮城県内航空消防応援協定締結。
〃	防災・消防ヘリコプター24 時間運航開始。
〃	広域消防水難救助隊発足。(潜水士資格者 18 名)
9月20日	「宮城県沖地震長期評価」の発表に伴い, 地震・津波対策検討委員会の設置。
11月21日	気仙沼・本吉地域広域テロ対策特別本部の設置。化学防護服を気仙沼消防署, 本吉分署, 志津川消防署に配備。
12月18日	気仙沼消防署南町出張所に高規格救急自動車配置。
平成14年 4月 1日	第 8 代消防長に菊田清一就任。
〃	消防職員 5 人採用。
4月17日	平成 14 年度宮城県林野火災防ぎょ訓練を本吉町小泉地区において実施。
5月 8日	広域防災センター入館者 90,000 人達成。
10月 1日	高速消防救急艇あさぎり大島係留開始。
10月 9日	組合設立及び広域消防発足 30 周年記念式典。
12月10日	志津川消防署歌津出張所に消防ポンプ自動車 (CD-I 型) 配置。
12月13日	志津川消防署に水槽付消防ポンプ自動車 (I-A 型) 配置。
〃	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車 (I-A 型) 配置。
平成15年 2月26日	(社)気仙沼市シルバー人材センターから指揮車の寄贈を受け, 消防本部に配置。
3月11日	気仙沼地域メディカルコントロール協議会を設立。
3月26日	気仙沼消防署唐桑出張所に高規格救急自動車配置。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
〃	通信指令室を通信指令課に改め 3 部体制 (職員 10 名) とした。
5月14日	広域防災センター入館者 100,000 人達成。
5月26日	三陸南地震。管内で震度 5 強を観測。
6月 4日	地震津波災害活動計画を作成。
7月26日	宮城県北部連続地震。 7 月 28 日から 2 日間, 延べ人員 6 名を鹿島台町に派遣し, タンク車による応援活動を行った。 この応援活動に対し, 消防庁長官から当消防本部に「功労章」が授与された。
8月26日	宮城県消防協会本吉支部の事務局所在地及び業務が, 宮城県気仙沼地方振興センターから消防本部へ移管された。
10月 1日	地震津波安全対策担当を配置。
10月23日	第 68 回全国消防長会警防委員会を気仙沼市で開催。
11月19日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車 (BD-I 型) 配置。

平成15年12月 8日	志津川消防署津山出張所に消防ポンプ自動車（CD－I型）配置。
平成16年 4月 1日	消防職員 3人採用。
4月28日	第 27 回全国消防長会東北支部意見発表大会（新潟市）において阿部利彦消防士が優秀賞を受賞。
9月 1日	平成 16 年度 9. 1 宮城県総合防災訓練を気仙沼市階上地区において実施。
〃	緊急通報 F A X 受信運用開始。
9月30日	広域防災センター入館者 110,000 人達成。
平成17年 2月23日	当消防本部初の「気管挿管認定」救急救命士誕生。
3月31日	登米市（4 月 1 日）への身分移管に伴う職員 10 名退職。 広域市町村合併に伴う志津川消防署津山出張所の消防業務事務引継及び閉庁式を実施。
4月 1日	津山町が組合を脱退し、1 市 4 町で組合再編
5月28日	気仙沼港において塩釜海上保安部「巡視船くりこま」潜水隊との合同潜水訓練を実施。
8月16日	8. 16 宮城県沖地震。管内で震度 5 弱を観測。
10月 1日	志津川町・歌津町が合併し「南三陸町」となり、1 市 3 町で組合再編。 志津川消防署から南三陸消防署へ名称変更。
12月 2日	南三陸消防署歌津出張所に高規格救急自動車配置。
平成18年 2月 8日	南三陸消防署に消防ポンプ自動車（CD－I型）配置。
2月13日	広域防災センター入館者 120,000 人達成。
3月 1日	谷村明信氏から潜水用資機材 7 式の寄贈を受けた。
3月 3日	気仙沼消防署に災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車配置。
3月31日	気仙沼市・唐桑町が合併し「気仙沼市」となり、1 市 2 町で組合再編。
4月 1日	消防職員 8 人採用。
9月24日	気仙沼湾に係留中のカツオ船（FRP 製）から火災が発生し、約 12 時間にわたる消火活動が行われた。
10月 6日	宮城県消防職員野球大会決勝大会が南三陸町歌津「平成の森」で行われ、当消防本部が優勝。
10月17日	当広域管内初の「薬剤（エピネフリン）投与の実施に係る認定」救急救命士誕生。
11月 1日	気仙沼ライオンズクラブから自動体外式除細動器（AED）1 台の寄贈を受け、防災センターに配置。
12月26日	気仙沼消防署に水難救助車を配置。
平成19年 1月24日	気仙沼消防署本吉分署に消防ポンプ自動車（CD－I型）配置。
3月28日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が南三陸消防署に設置され運用開始。
4月 1日	第 9 代消防長に菅原武人就任。
〃	消防職員 7 人採用。初の女性消防士誕生。
5月23日	平成 19 年度大規模津波防災総合訓練（国土交通省主催）が気仙沼市をメイン会場に実施された。
7月 3日	広域防災センター入館者 130,000 人達成。
平成20年 2月 6日	毎年 4 月 15 日から 5 月 14 日までを行楽期の火災予防月間とした。
4月 1日	第 10 代消防長に齋藤一善就任。
〃	消防職員 4 人採用。

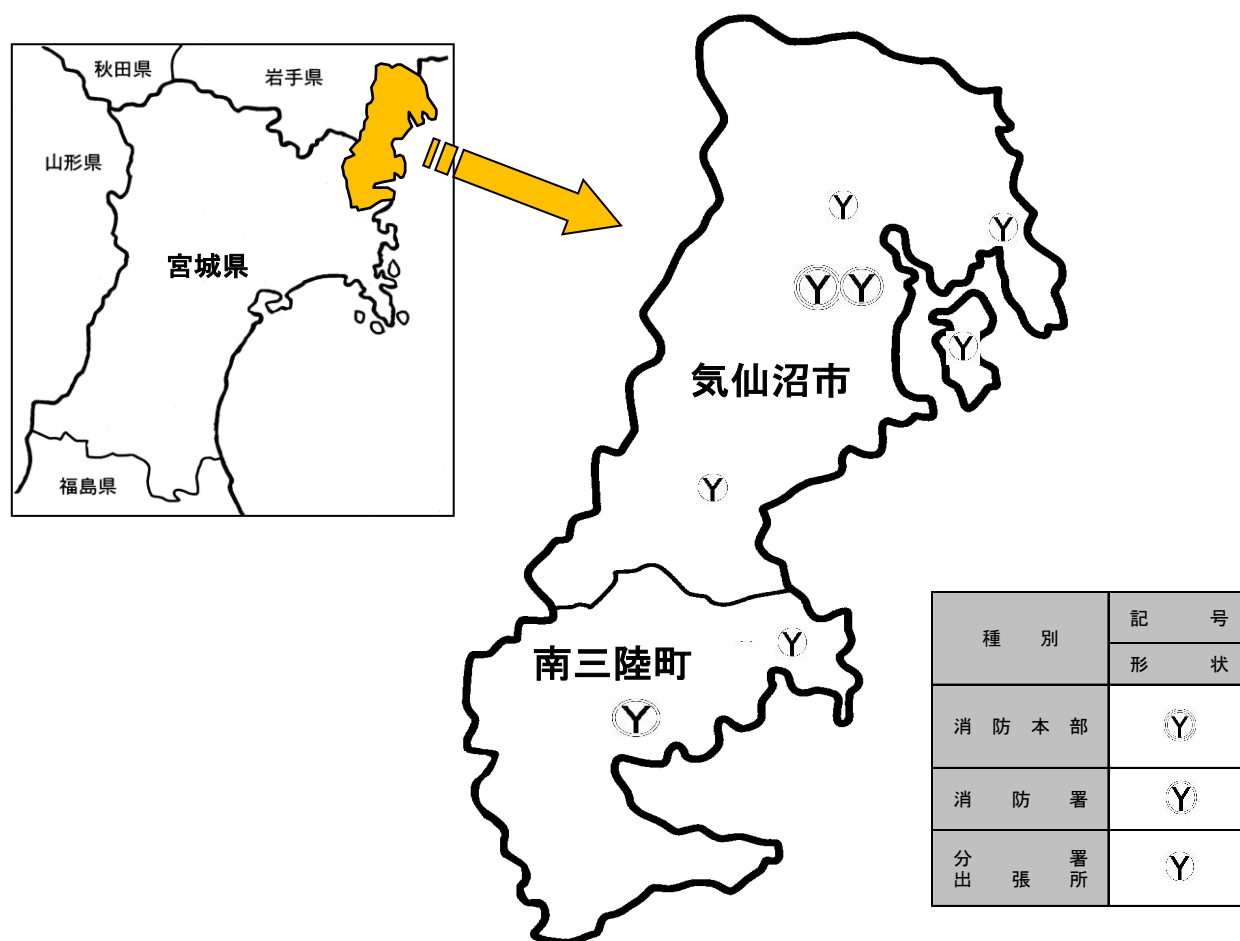
平成20年 4月 1日	各署所に地震津波安全対策担当を配置。
5月22日	第7回全国消防長会警防防災委員会を気仙沼市で開催。
6月14日	平成20年岩手・宮城内陸地震。 宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、6月15日から6月23日まで9日間、延べ人員63名を栗原市に派遣した。
7月24日	岩手県沿岸北部を震源とする地震。管内で震度5強を観測。
7月28日	気仙沼消防署に資機材搬送車を配置。
7月29日	南三陸消防署に指令車、気仙沼消防署本吉分署に査察車を配置。
11月10日	災害情報等の電子メールでの配信を開始。
平成21年 1月 9日	広域防災センター入館者140,000人達成。
3月24日	宮城県防潮水門遠隔操作システムの操作装置が防災センターに設置され運用開始。
4月 1日	第11代消防長に千葉章一就任。
〃	消防職員9人採用。(うち救急救命士1人)
4月28日	救急救命士国家試験に2人合格。34名。
9月 1日	気仙沼市・本吉町が合併し「気仙沼市」となり、1市1町で組合再編。 事務組合規約を変更、理事会制から管理者制へ移行。
12月28日	気仙沼消防署及び南三陸消防署の高規格救急自動車を更新配置。
平成22年 3月24日	新人職員人材育成実施計画を作成。
4月 1日	出張所に係を配置。
〃	消防職員7人採用。
4月30日	救急救命士国家試験に2人合格。36名。
6月 9日	広域防災センター入館者150,000人達成。
12月 8日	気仙沼消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅱ型を配置。
平成23年 3月11日	東北地方太平洋沖地震 管内で震度6弱を観測 マグニチュード9.0 国内観測史上最大級の地震 名称は「東日本大震災」。 消防職員10名殉職。 庁舎被害：津波により全壊(南三陸消防署・歌津出張所)・全損(南町出張所) 地震による庁舎敷地地盤の沈下・擁壁亀裂(唐桑出張所) 車両等被害：火災及び津波により被災(消防艇1艇・指揮車2台・資機材搬送車1台) 緊急消防援助隊応援部隊数：1,141部隊、4,317名。
4月 1日	消防職員13人採用。
〃	嘱託員制度を導入。(4人)
4月12日	救急救命士国家試験に2人合格。35名。
9月25日	東日本大震災 組合消防職員殉職者合同慰霊祭を実施。
11月 9日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、総務大臣表彰が授与された。
平成24年 2月28日	気仙沼消防署南町出張所に消防ポンプ自動車(CD-I型)を配置。
〃	台湾 洪氏から消防ポンプ自動車(CD-I型)の寄贈を受け、南三陸消防署に配置。
3月21日	気仙沼消防署大島出張所に広報車を配置。
〃	南三陸消防署に指揮車及び資機材搬送車を配置。

平成24年 4月 1日	消防職員 14 人採用。(うち女性 1 人)
〃	再任用制度を導入。(6 人再任用)
4月10日	救急救命士国家試験に 1 人合格。35 名。
6月23日	広域防災センター入館者 160,000 人達成。
9月 1日	東日本大震災の活動に従事した功績に対し、防災功労者内閣総理大臣表彰が授与された。
平成25年 2月18日	J A 南三陸・J A 共済連宮城「地域の安全・安心プロジェクト」により、高規格救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署本吉分署に配置。
3月18日	前田道路株式会社から消防ポンプ自動車(CD-I 型)の寄贈を受け、気仙沼消防署南町出張所に配置。
3月27日	消防救急艇「あさぎり」竣工式。
4月 1日	第 12 代消防長に及川淳之助就任。
〃	消防職員 10 人採用。
〃	消防職員 6 人再任用。
〃	消防指令センター及び消防救急デジタル・アナログ無線施設運用開始。
〃	南三陸消防署及び南三陸消防署歌津出張所仮設庁舎開庁式。
4月 8日	救急救命士国家試験に 2 人合格。36 名。
7月 1日	人事評価制度開始。
6月26日	第 36 回全国消防職員意見発表の一環として、三浦勝郎司令補が東日本大震災被災地消防本部職員意見発表を行った。
12月21日	広域防災センター入館者 170,000 人達成。
平成26年 3月 3日	東日本大震災での教訓を後世に伝え、今後殉職事故を発生させないことを職員全員が誓い、確認する日として「消防誓いの日」を制定。
平成26年 3月11日	東日本大震災消防職員殉職者慰霊碑・伝承碑建立式。(職員互助会事業)
3月24日	宮城県石油商業協同組合気仙沼支部・本吉支部と災害時における燃料等の供給に関する協定を締結。
3月28日	気仙沼消防署に救助工作車(II 型)を配置。
3月31日	救急救命士国家試験に 2 人合格。37 名。
4月 1日	消防職員 12 人採用。(うち救急救命士 2 人)
〃	消防職員 7 人再任用。
7月 2日	第 39 回宮城県消防救助技術指導会において、南三陸消防署隊が「ほふく救出」にて第 1 位となり全国消防救助技術大会の出場を決めた。(全国大会は中止)
7月22日	天皇皇后両陛下の宮城県内への行幸啓に伴い、管内市町で警備を実施。(3 日間)
7月31日	気仙沼消防署古町出張所落成式。(8 月 1 日より業務開始)
	気仙沼消防署南町出張所から気仙沼消防署古町出張所へ名称変更。
平成27年 1月31日	気仙沼ライオンズクラブから消防活動用広報車の寄贈を受け、気仙沼消防署唐桑出張所及び南三陸消防署歌津出張所へ配置。
3月 7日	気仙沼消防署古町出張所の高規格救急自動車を更新配置。
3月31日	救急救命士国家試験に 2 人合格。41 名。

平成27年 4月 1日	第 13 代消防長に菅原裕二就任。
〃	消防職員 11 人採用。(うち救急救命士〈女性〉1 人)
〃	消防職員 8 人再任用。
7月 1日	広域管内初となる宮城県メディカルコントロール協議会より救急救命士が処置拡大の認定を受け運用を開始。
9月28日	アステラス製薬株式会社から高規格救急自動車の寄贈を受け、気仙沼消防署大島出張所へ配置。
平成28年 1月 1日	平成 27 年の火災件数が広域消防発足以降、最小件数を更新。(23 件)
1月18日	広域防災センター入館者 180,000 人達成。
3月31日	救急救命士国家試験に 2 人合格。44 名。
4月 1日	消防職員 9 人採用。(うち救急救命士 1 人)
〃	消防職員 3 人再任用。
4月18日	第 39 回全国消防長会東北支部意見発表大会(仙台市)において熊谷崇洋消防士が入賞。
6月13日	気仙沼消防署唐桑出張所落成式。(6 月 1 日より業務開始)
8月 1日	当消防本部に双子のイメージキャラクター「かなえ」ちゃん、「みなみ」ちゃんが誕生。
8月 3日 ～4日	平成 28 年度少年消防クラブ交流会(全国大会)合同訓練を南三陸町(平成の森)で開催。
8月31日	台風第 10 号に伴う大雨災害により広域消防初の緊急消防援助隊が出動。 8 月 31 日から 9 月 9 日の 10 日間、延べ 5 隊(救助小隊・消火小隊) 25 名を岩手県岩泉町に派遣し、安否確認及び捜索活動を行った。
12月21日	気仙沼消防署唐桑出張所の高規格救急自動車を更新配置。
平成29年 1月 1日	平成 28 年の火災件数が広域消防発足以降、最小件数を更新。(16 件)
2月 8日	台風第 10 号に伴う大雨災害に緊急消防援助隊を派遣し、活動に従事した功績に対し消防庁長官より賞状が授与された。
3月29日	気仙沼消防署に消防ポンプ自動車(CD-I 型)を配置。
3月31日	救急救命士国家試験に 1 人合格。46 名。
4月 1日	消防職員 3 人採用。
4月17日	南三陸消防署歌津出張所落成式。(5 月 1 日より業務開始)
5月18日	第 25 回全国消防長会警防防災委員会を気仙沼市で開催。
10月 1日	「消防職員パワーハラスメント防止に関する指針」及び「職場におけるパワーハラスメントの防止に関する要綱」を策定。
平成30年 2月 9日	南三陸消防署歌津出張所の高規格救急自動車を更新配置。
2月14日	南三陸消防署歌津出張所消防職員待機宿舎を解体撤去。
3月23日	気仙沼消防署唐桑出張所の消防ポンプ自動車(CD-I 型)を更新配置。
3月29日	広域防災センター入館者 190,000 人達成。
3月30日	救急救命士国家試験に 1 人合格。47 名。
4月 1日	消防職員 3 人採用。

平成30年 4月25日	第 41 回全国消防長会東北支部意見発表大会（山形市）において遠藤崇史消防士長が入賞。
9月 6日	北海道胆振東部地震により緊急消防援助隊が出動 9月6日から9月11日の6日間、救助小隊・後方支援隊7名を北海道勇払郡厚真町に派遣し、安否確認及び捜索活動を行った。
平成31年 2月 5日	北海道胆振東部地震に伴う災害に緊急消防援助隊を派遣し、活動に従事した功績に対し消防庁長官より賞状が授与された。
3月15日	気仙沼消防署本吉分署に水槽付消防ポンプ自動車（I－A型）を更新配置。
3月29日	救急救命士国家試験に2人合格。49名
4月 1日	消防職員2人採用。
令和元年 5月21日	陸前高田市消防本部と三陸縦貫自動車道における消火、救急、救助業務等に関する覚書を締結。
8月29日	気仙沼消防署古町出張所に高規格救急自動車を更新配置。
9月 2日	南三陸消防署落成式。（8月8日より業務開始）
9月10日	東日本大震災消防職員殉職者慰霊碑御魂入供養。（職員互助会事業）
10月13日	台風第19号被害に係る宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、10月13日から10月17日、10月21日の6日間、延べ8隊（消火隊・救急隊）28名を丸森町に派遣した。
令和 2年 1月15日	消防本部に人員輸送車を更新配置。
3月24日	南三陸消防署に水槽付消防ポンプ自動車（I－A型）を更新配置。
3月31日	救急救命士国家試験に2人合格。50名
4月 1日	第14代消防長に三浦行博就任。
”	消防職員4人採用。
5月 1日	岩沼市倉庫火災に係る宮城県広域消防相互応援協定に基づく応援要請により、5月1日から5月2日の2日間、延べ2隊（梯子車隊）8名を岩沼市に派遣した。

圏域管内図



位 置 及 び 管 内 情 勢

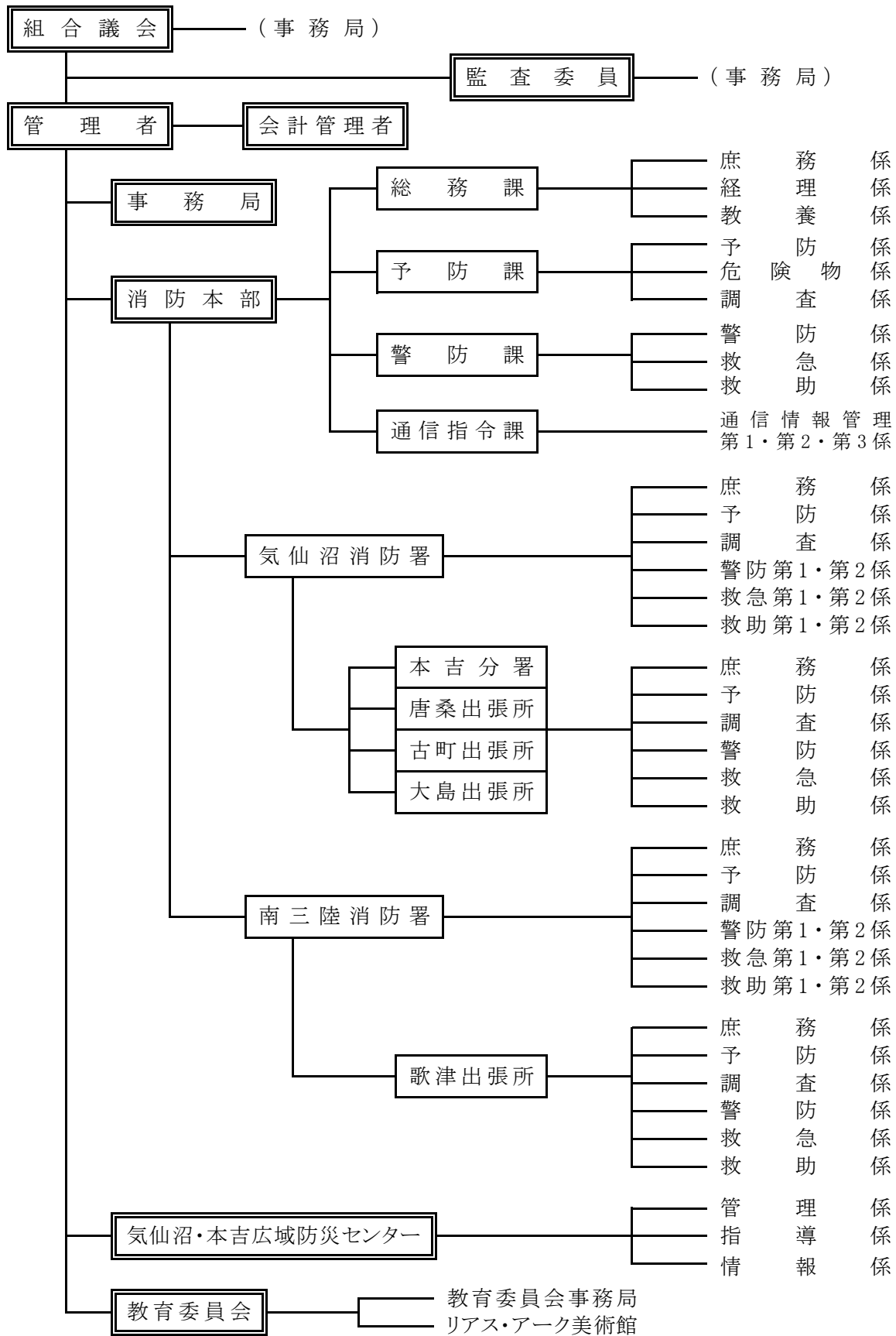
当組合は、気仙沼市と南三陸町の1市1町で構成され、宮城県の最北端に位置し、東は雄大な太平洋に面し、西は北上山系の支脈の稜線で、岩手県や宮城県の内陸市町村と接しています。また、太平洋側は、変化に富んだ美しいリアス式海岸で、三陸復興国立公園に指定され、多くの観光客が訪れています。

(令和2年4月1日現在)

市 町 名	面 積 (km ²)	世 帯 数 (世帯)	人 口 (人)
気 仙 沼 市	332.44	26,323	62,009
南 三 陸 町	163.40	4,488	12,564
合 計	495.84	30,811	74,573

組合組織図

(令和2年4月1日現在)



庁 舎 位 置

(令和2年4月1日現在)

本 部 ・ 署 所	所 在 地	標 高 (m)	敷地面積 (㎡)	構 造	面 積 (㎡)	竣 工
消 防 本 部	〒988-0104 気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2	24.8	6255.00	鉄筋コンクリート 3階建	建1,700.3 延2,981.4	平5.10
気仙沼消防署						
防災センター						
気仙沼消防署 本吉分署	〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾1番地1	15.0	700.80	鉄筋コンクリート 2階建	建 208.25 延 314.50	昭48.1
気仙沼消防署 唐桑出張所	〒988-0524 気仙沼市唐桑町只越346番地13	64.0	2642.50	鉄筋コンクリート 平屋建	建 451.47 延 425.25	平28.5
気仙沼消防署 古町出張所	〒988-0077 気仙沼市古町1丁目6番17号	15.7	1145.67	鉄筋コンクリート 2階建	建 309.47 延 580.50	平26.7
気仙沼消防署 大島出張所	〒988-0604 気仙沼市廻館113番地1	36.0	429.40	軽量鉄骨造 一部木造 平屋建	建 153.7 延 150.9	昭54.3 平14.10 (増築)
南三陸消防署	〒986-0727 南三陸町志津川字新井田34番地4	20.0	6940.05	鉄筋コンクリート 平屋建	建 934.89 延 929.98	令元.7
南三陸消防署 歌津出張所	〒988-0423 南三陸町歌津字柗沢28番地1	37.4	1684.97	鉄筋コンクリート 平屋建	建 460.97 延 433.80	平29.3

待 機 宿 舎 位 置

(令和2年4月1日現在)

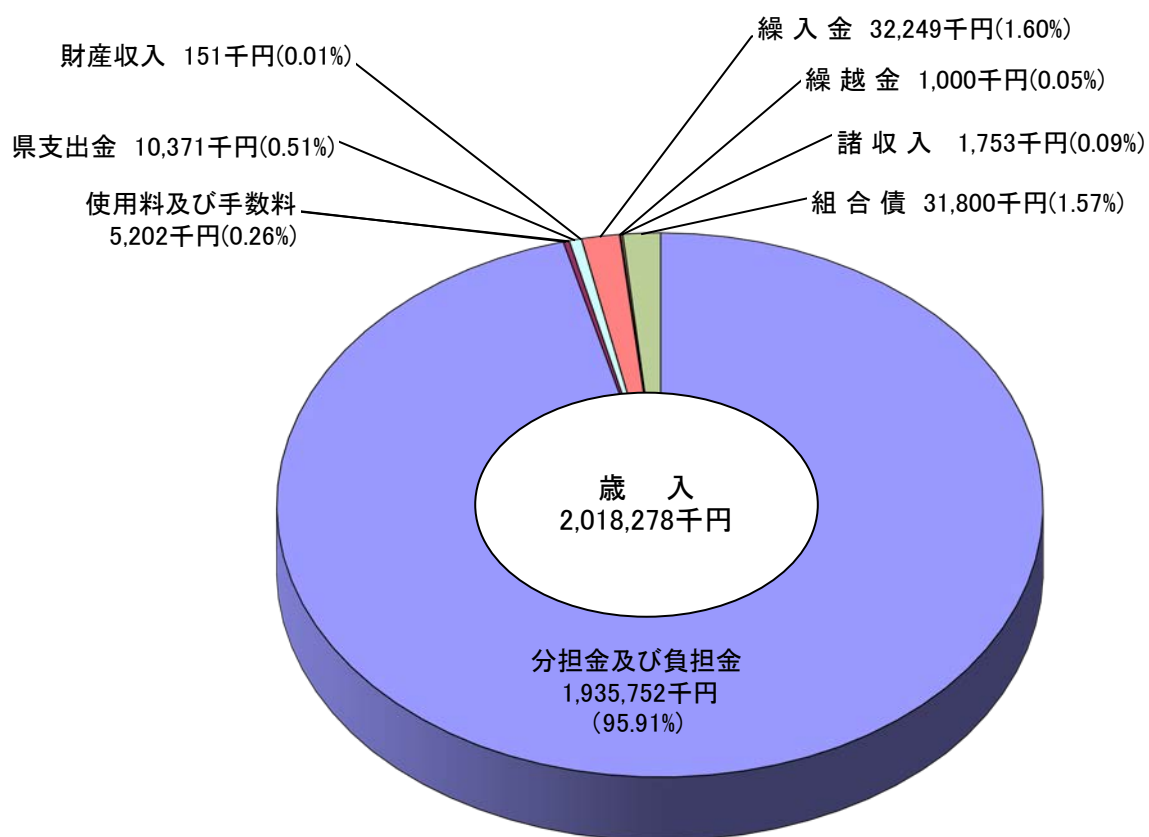
所 在 地	室 数	構 造	面 積(㎡)	竣 工
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢44番地114	単身用4室	木 造 1 階 建	115.93	平9.3
〒988-0535 気仙沼市唐桑町馬場189番地7	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	99.84	昭57.2
〒988-0309 気仙沼市本吉町津谷松尾68番地9	世帯用2室	鉄骨耐火構造1階建	100.00	昭58.3
〒986-0776 南三陸町志津川字竹川原47番地4	世帯用6室	鉄骨耐火構造2階建	297.61	昭55.3

総務



南三陸消防署（令和元年7月竣工）

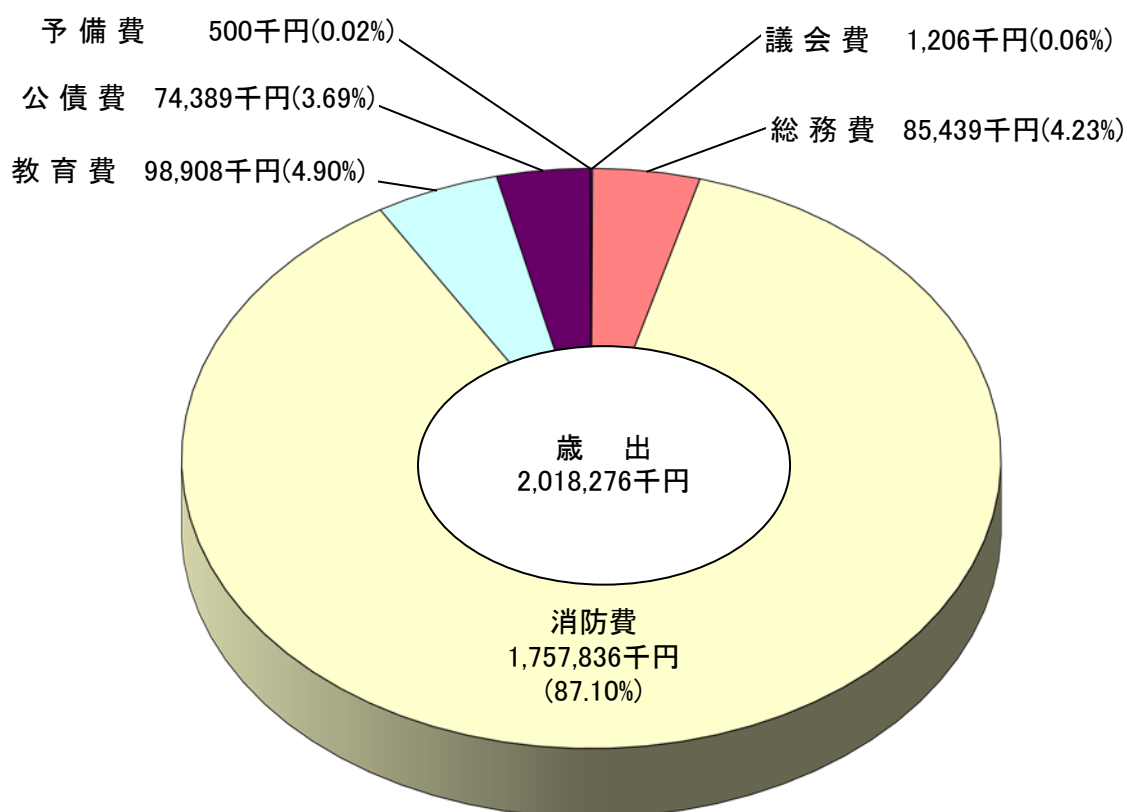
令和2年度当初歳入予算



(単位：千円)

科 目	令和2年度予算額	令和元年度当初予算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	1,935,752	1,862,036	73,716
使 用 料 及 び 手 数 料	5,202	5,175	27
国 庫 支 出 金	0	0	0
県 支 出 金	10,371	296	10,075
財 産 収 入	151	60	91
繰 入 金	32,249	38,208	△ 5,959
繰 越 金	1,000	1,000	0
諸 収 入	1,753	1,780	△ 27
組 合 債	31,800	29,800	2,000
合 計	2,018,278	1,938,355	79,923

令和2年度当初歳出予算



(単位：千円)

科 目	令和2年度予算額	令和元年度予算額	比 較
議 会 費	1,206	1,204	2
総 務 費	85,439	85,664	△ 225
消 防 費	1,757,836	1,680,241	77,595
教 育 費	98,908	88,887	10,021
公 債 費	74,389	81,859	△ 7,470
予 備 費	500	500	0
合 計	2,018,278	1,938,355	79,923

令和2年度(当初)組合消防費にかかる性質別歳出の財源内訳

(単位:千円)

区 分	予 算 額	財 源 内 訳			
		負 担 金	国・県支出金	組 合 債	そ の 他
人 件 費	1,409,451	1,396,566	10,371		2,514
扶 助 費	20,805	20,805			
物 件 費	143,172	142,813			359
補 助 費 等	9,935	9,935			
維 持 補 修 費	5,292	5,292			
普通建設事業費	126,500	94,700		31,800	
災害復旧事業費	42,681	42,681			
公 債 費	74,389	74,253			136
予 備 費	500	500			
合 計	1,832,725	1,787,545	10,371	31,800	3,009

令和2年度(当初)構成市町の一般会計と消防予算

(単位:千円)

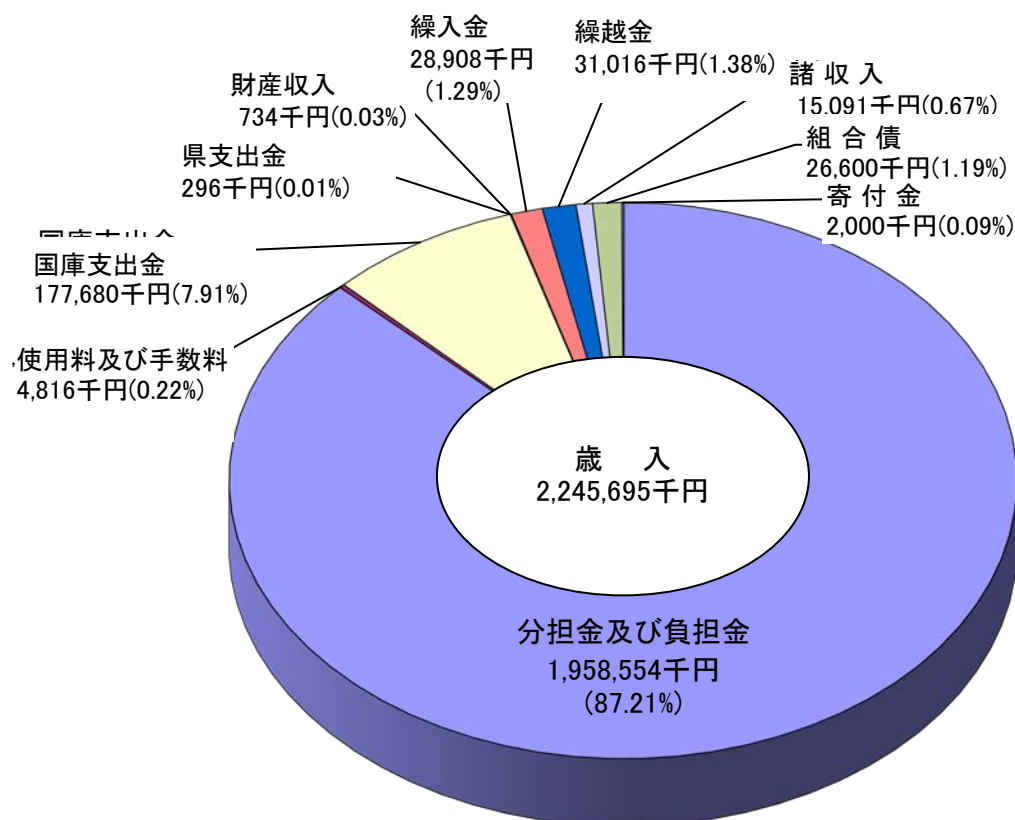
区 分	一 般 会 計 A	消 防 費 B	内 訳			割 合 B/A (%)
			常 備	非 常 備	そ の 他	
気 仙 沼 市	72,594,273	1,642,592	1,283,709	217,826	141,057	2.26
南 三 陸 町	28,560,000	719,795	503,836	55,379	160,580	2.52
合 計	101,154,273	2,362,387	1,787,545	273,205	301,637	2.34

令和元年度(決算)構成市町負担金負担割合

(単位:千円)

区 分	消 防 費 基 準 財 政 需 要 額		消 防 費 負 担 金	
	金 額 (千円)	構 成 比 (%)	金 額 (千円)	構 成 比 (%)
気 仙 沼 市	983,914	76.89	1,268,190	69.59
南 三 陸 町	295,654	23.11	554,149	30.41
合 計	1,279,568	100.00	1,822,339	100.00

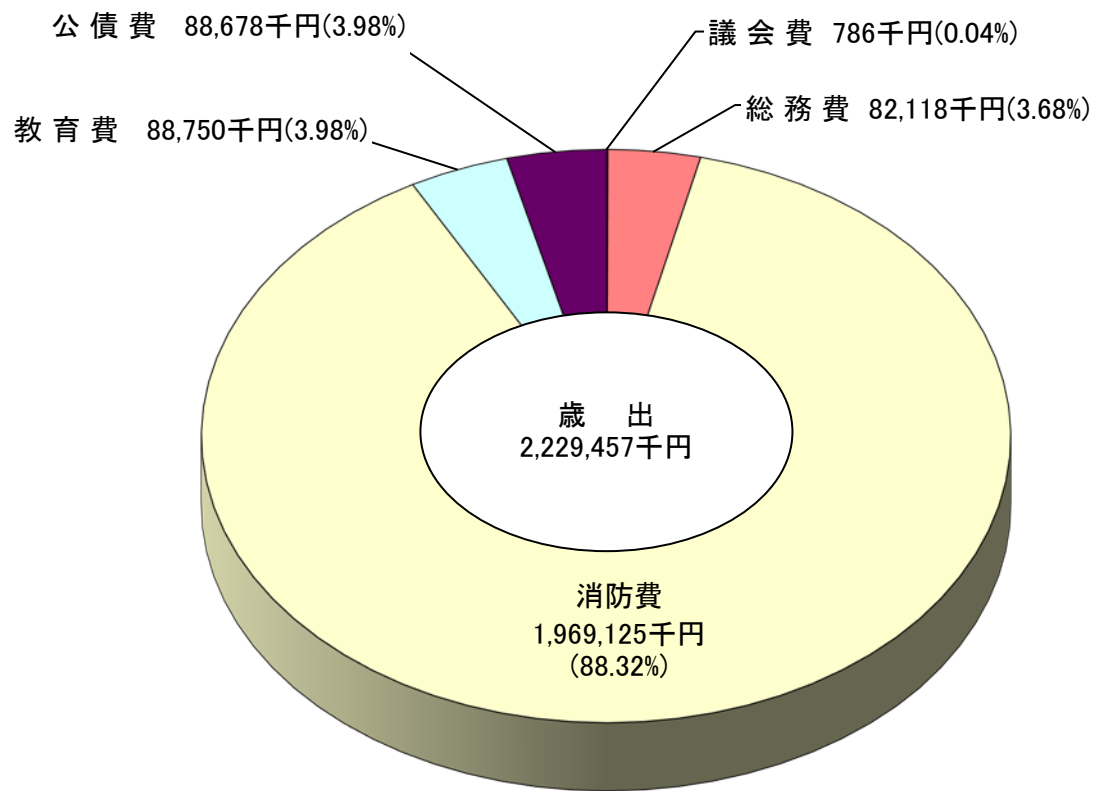
令和元年度歳入決算



(単位：千円)

科 目	令和元年度予算額(最終)	令和元年度決算額	比 較
分 担 金 及 び 負 担 金	2,008,734	1,958,554	△ 50,180
使 用 料 及 び 手 数 料	5,175	4,816	△ 359
国 庫 支 出 金	210,968	177,680	△ 33,288
県 支 出 金	296	296	0
財 産 収 入	771	734	△ 37
繰 入 金	31,132	28,908	△ 2,224
繰 越 金	31,015	31,016	1
諸 収 入	15,022	15,091	69
組 合 債	26,600	26,600	0
寄 付 金	2,000	2,000	0
合 計	2,331,713	2,245,695	△ 86,018

令和元年度歳出決算



(単位：千円)

科 目	令和元年度予算額(最終)	令和元年度決算額	比 較
議 会 費	1,204	786	418
総 務 費	85,165	82,118	3,047
消 防 費	2,065,236	1,969,125	96,111
教 育 費	91,130	88,750	2,380
公 債 費	88,729	88,678	51
予 備 費	249	0	249
合 計	2,331,713	2,229,457	102,256

消 防 職 員 配 置 状 況

(令和2年4月1日現在)

区 分		合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消防士	事務吏員
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	次 長	1		1					
	総 務 課	10		1	1	3		4	1
	予 防 課	3		1	1	1			
	警 防 課	4		1	1	1	1		
	通 信 指 令 課	10		1	3	3	3		
	小 計	29	1	5	6	8	4	4	1
気 仙 沼 消 防 署 管 内	気仙沼消防署	40		3	4	9	9	15	
	本 吉 分 署	20		1	1	5	6	7	
	唐 桑 出 張 所	16			1	5	5	5	
	古 町 出 張 所	18			2	5	5	6	
	大 島 出 張 所	16			1	5	5	5	
	小 計	110		4	9	29	30	38	
南 三 陸 消 防 署 管 内	南三陸消防署	31		3	3	6	9	10	
	歌 津 出 張 所	16			2	4	5	5	
	小 計	47		3	5	10	14	15	
合 計		186	1	12	20	47	48	57	1

※ 総務課には、宮城県消防学校派遣 1 名及び宮城県防災航空隊派遣 1 名、宮城県消防学校初任総合教育入校者 4 名を含む。

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数

(令和2年4月1日現在)

階級 勤続年数	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消防士	事務吏員
平均勤続年数	14.8	39.0	35.3	25.6	19.5	11.6	5.1	19.0
合 計	186	1	12	20	48	47	57	1
1 年 未 満	4						4	
1 年 以 上	2						2	
2 "	3						3	
3 "	3						3	
4 "	9						9	
5 "	10						10	
6 "	12					3	9	
7 "	10					2	8	
8 "	11					7	4	
9 "	12				3	4	5	
10 "	7					7		
11 "	8				1	7		
12 "	4				2	2		
13 "	6				2	4		
14 "	7				1	6		
15 "								
16 "	2				2			
17 "	3				3			
18 "	4				4			
19 "	7				5	1		1
20 "	4			1	3			
21 "	5				4	1		
22 "	6			1	5			
23 "	6			4	1	1		
24 "	6			1	4	1		
25 "	7			2	5			
26 "	7			6		1		
27 "								
28 "	4			3	1			
29 "	2		1	1				
30 "	3		1		2			
31 "								
32 "								
33 "								
34 "	2		1	1				
35 "	2		2					
36 "	3		3					
37 "								
38 "	3		3					
39 "	2	1	1					
40 "								
41 "								
42 "								

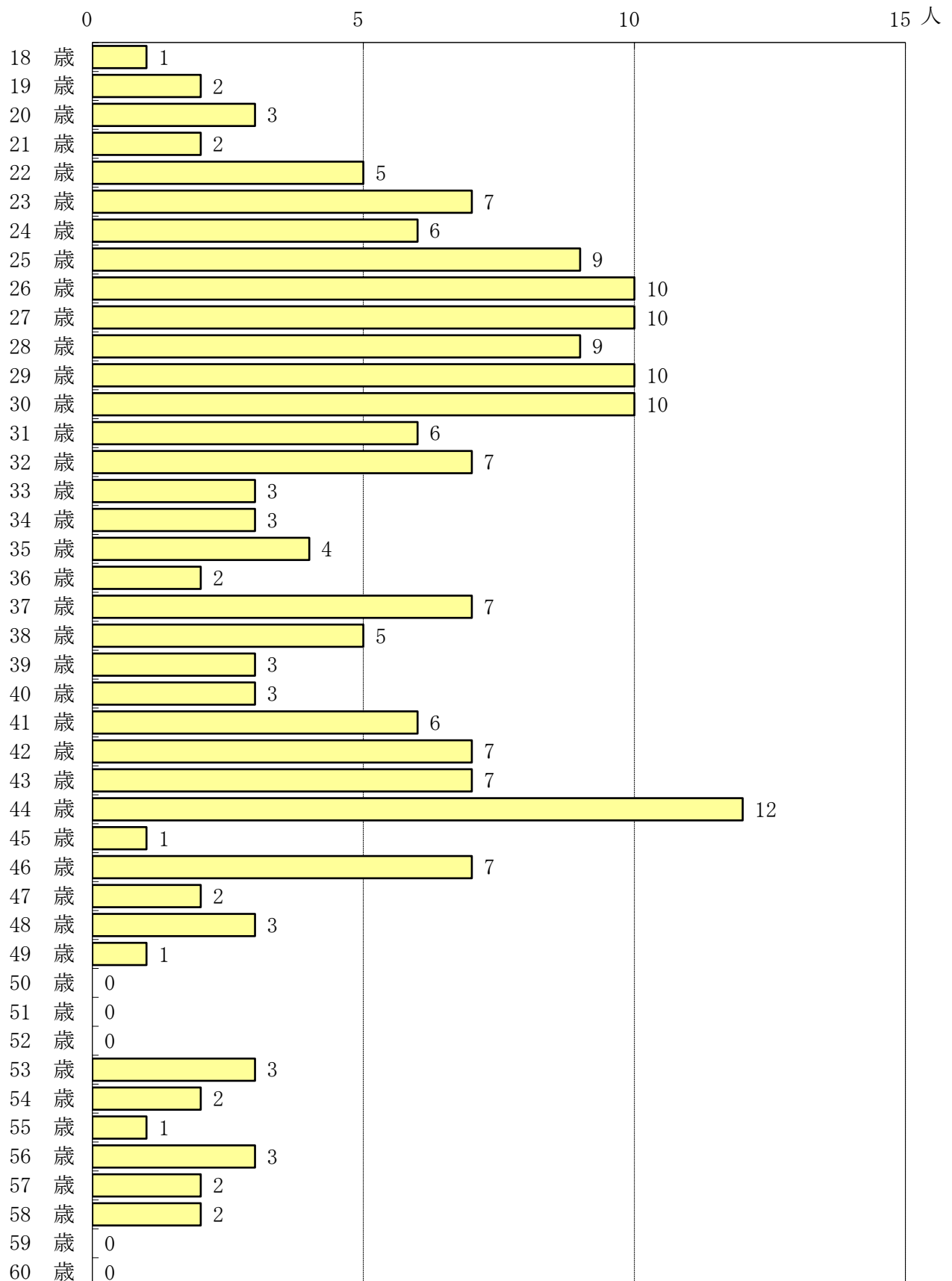
消 防 職 員 階 級 別 年 齡

(令和2年4月1日現在)

階級 年 齡	合 計	消防監	消 防 司令長	消防司令	消 防 司令補	消防士長	消防士	事務吏員
平 均 年 齡	34.5	57.0	54.6	45.0	39.4	31.6	24.5	37.0
合 計	186	1	12	20	48	47	57	1
18 歳	1						1	
19 歳	2						2	
20 歳	3						3	
21 歳	2						2	
22 歳	5						5	
23 歳	7						7	
24 歳	6						6	
25 歳	9					1	8	
26 歳	10					3	7	
27 歳	10						10	
28 歳	9					6	3	
29 歳	10					8	2	
30 歳	10				2	7	1	
31 歳	6				2	4		
32 歳	7				2	5		
33 歳	3				1	2		
34 歳	3				1	2		
35 歳	4				2	2		
36 歳	2				2			
37 歳	7				4	2		1
38 歳	5				4	1		
39 歳	3				3			
40 歳	3			1	2			
41 歳	6			1	4	1		
42 歳	7				6	1		
43 歳	7			1	5	1		
44 歳	12			9	2	1		
45 歳	1				1			
46 歳	7			5	2			
47 歳	2		1	1				
48 歳	3			1	2			
49 歳	1				1			
50 歳								
51 歳								
52 歳								
53 歳	3		3					
54 歳	2		2					
55 歳	1			1				
56 歳	3		3					
57 歳	2	1	1					
58 歳	2		2					
59 歳								
60 歳								

消防職員年齢構成図

(令和2年4月1日現在)



学 校 等 教 育 状 況

(過去10年)

年度 (H:平成 R:令和)			種 別										
			R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	計
宮 城 県 消 防 学 校	初 任 総 合 教 育		2	3	3	9	11	12	10	13	13	7	83
	専 科 教 育	警 防 科	2	2		2		2		2			10
		火 災 調 査 科	2	2	2	2	2		2			2	14
		予 防 査 察 科	2	2	2		2	2				2	12
		危 険 物 科		2		2			2				6
		特 殊 災 害 科	2		2		2			2			8
		救 助 科								1			1
	幹 部 教 育	初 級 幹 部 科		2		2	2	2		2			10
		中 級 幹 部 科	2		2		2		2			2	10
		上 級 幹 部 科	1		1					1			3
	特 別 教 育	はしご自動車操作			1					2			3
		薬 剤 投 与 講 習										4	4
		救急救命士再教育	2	2	2	2	2	2	3	4			19
		救急救命士処置拡大	3	8	8	8	4	2					33
		指 揮 隊 長 教 育	1		1	1	1						4
		救 助 隊 長 教 育				1							1
		救急隊員再教育	2										2
		救助隊員再教育	2	2	2								6
	小 計		23	25	26	29	28	22	21	25	13	17	229
消 防 大 学 校	総 合 教 育	幹 部 科				1	1	1	1	1	1	1	7
	専 科 教 育	警 防 科							1				1
		救 助 科									1		1
		救 急 科					1				1		2
		予 防 科	1					1					2
		危 険 物 科							1				1
		火 災 調 査 科		1						1			2
	実 務 講 習	女性活躍推進コース	1										1
	小 計		2	1		1	2	2	3	2	3	1	17
救急救命東京研修所			2	2	1	1	2	2	2	2	1	1	14
合 計			27	28	27	31	32	26	26	29	17	19	262

職 員 資 格 取 得 状 況

(令和2年4月1日現在)

階 級			総 数	消防司令長 以 上	消防司令	消 司 防 司 令 補	消防士長	消 防 士	
種 別 消防吏員数									
			185	13	20	47	48	57	
大 型 免 許	2 種		12	1	3	6	2		
	1 種		123	8	17	37	38	23	
	特 殊		11	1		8	1	1	
	け ん 引		4			2	1	1	
中 型 免 許	2 種		5		1	3	1		
	1 種		116	13	20	47	26	10	
準 中 型 免 許			1 種	61		1	17	43	
普 通 免 許	2 種		15	1	2	10	2		
	1 種		18			1	5	12	
自 動 2 輪	普 通		60	7	5	20	17	11	
	大 型		27	4	3	12	5	3	
整 備 管 理 者			4	2	1	1			
救 急 救 命 士			48	6	7	14	15	6	
			気 管 挿 管 認 定	40	6	7	14	12	1
			薬 剤 投 与 認 定	48	6	7	14	15	6
			ブドウ糖投与等認定	40		5	14	15	6
潜 水 士			46	3	9	19	12	3	
小 型 船 舶 操 縦 士	1 級	12		1	9	2			
	2 級	34	3	6	15	9	1		
無 線	陸 上 特 殊	1 級	4			2	1	1	
		2 級	99	5	4	7	30	53	
		3 級	68		13	39	16		
		国内電信級	1				1		
	海上特殊	1 級	5			1	1	3	
		2 級	13	1	2	8	2		
	ア マ チュア	4 級	1	1					
		電話級	1			1			
小 型 移 動 式 ク レ ーン			67	9	13	28	12	5	
玉 掛 技 能			67	9	13	29	13	3	
特定化学物質等作業主任者			2	1	1				
特別管理産業廃棄物管理責任者			13		4	9			
アセチレンガス溶接士			9	2		4	2	1	
電 気 工 事 士			4		1	1	1	1	
衛 生 管 理 者	第 1 種		1	1					
	第 2 種		7	5	1	1			
危 険 物 取 扱 者	甲 種		3			3			
	乙 種		230	8	20	48	46	108	
消 防 設 備 士	甲 種		1			1			
	乙 種		25	1	1	8	5	10	
予 防 技 術 検 定	予 防 査 察		107	3	6	35	34	29	
	消防用設備等		34		4	17	9	4	
	危 険 物		50	2	3	22	18	5	

防 予

ひとつずつ いいね！で確認 火の用心



「第9回消防絵画コンクール」最優秀賞 気仙沼市立中井小学校 6年 三浦 佳太（みうら けいた）

火事・救急・救助は119

秋の火災予防運動 11月9日～11月15日

住宅用火災警報器を正しく設置しましょう！

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部 宮城県消防協会本吉地区支部 気仙沼市防火管理者協会 気仙沼市唐桑町防火管理者協会
本吉町防火管理者協会 南三陸町防火管理者協会 危険物安全協会気仙沼支部 危険物安全協会南三陸支部



第9回消防絵画コンクール 最優秀賞
気仙沼市立中井小学校 6年 三浦 佳太 さん



防 火 対 象 物

消防法第17条対象物

(令和2年3月31日現在)

署 所 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2	1	1					
	ロ	公会堂・集会場	135	30	32	14	11	5	31	12
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場・ダンスホール	10	6			4			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
3	ニ	カラオケボックス等	3	3						
	イ	待合・料理店等								
3	ロ	飲食店	62	22	7	3	22	2	5	1
	百貨店・マーケット・店舗等		155	74	10	4	42		22	3
4	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	83	11	3	8	11	22	16	12
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	364	163	21	3	107	3	47	20
5	イ	(1) 病院等	3	2			1			
		(2) 診療所等								
		(3) 助産所等（入所施設有）	8	1	1		6			
		(4) 助産所等（入所施設無）	23	11	2	1	7	1	1	
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	34	6	6	4	10	2	4	2
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	9		3	5	1			
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	20	6	5		5		2	2
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	25	8	2		10	2	1	2
		(4) 児童発達支援センター等	2	1			1			
		(5) 身体障害者福祉センター等	14	5	1	6				2
	ニ	幼稚園・特別支援学校	17	5	4	2	4		2	
6	学校・各種学校等		105	38	17	6	21	4	13	6
7	図書館・博物館・美術館等		6	2		2			1	1
8	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								
9	車両の停車場等		1				1			
10	神社・寺院・教会等		57	12	11	6	15	3	8	2
11	イ	工場・作業場	454	186	44	25	93	5	69	32
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1				1			
12	イ	自動車車庫・駐車場	18	8	1		7		1	1
	ロ	飛行機などの格納庫								
13	倉庫		304	139	25	14	59	1	50	16
14	前各項に該当しない事業場		342	136	35	19	86	6	45	15
15	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	181	87	7	8	51	6	18	4
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	97	56	5	7	24		3	2
15の2		地下街								
15の3		準地下街								
16	文化財等		7				5		2	
合 計			2,542	1,019	243	137	605	62	341	135

用途別消防用設備等の設置状況

(令和2年3月31日現在)

消防用設備等 用 途 別			消 火 設 備			警 報 設 備			避 難 設 備	
			消 火 器	屋 内 消 火 栓	ク ス プ リ ン	報 自 知 動 設 火 備 災	警 漏 電 報 火 器 災	警 非 報 設 備 常	避 難 器 具	誘 導 灯
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2	1	1	2		2		2
	ロ	公会堂・集会場	79	7		32	1	53	1	67
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	1							1
	ロ	遊技場・ダンスホール	10			10		7	1	10
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
	ニ	カラオケボックス等	3			3		1	1	3
3	イ	待合・料理店等								
	ロ	飲食店	118			21	1	29	4	88
4		百貨店・マーケット・店舗等	159	19	2	85		29		156
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	83	19	3	111	17	16	13	100
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	365			106	1	9	60	15
6	イ	(1) 病院等	3		2	3		3	1	3
		(2) 診療所等				1				
		(3) 助産所等（入所施設有）	8	4	1	8	4	4	1	7
		(4) 助産所等（入所施設無）	24			12	1	4	1	25
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	34	1	33	34		1	2	33
		(2) 救護施設								
		(3) 乳児院								
		(4) 障害児入所施設								
		(5) 障害者支援施設等	9		7	9				7
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	19	2		8		2	1	20
		(2) 更生施設								
		(3) 助産施設・保育所等	25	2		17	2	2		12
		(4) 児童発達支援センター等	2			1				4
		(5) 身体障害者福祉センター等	17		1	12		1	1	15
	ニ	幼稚園・特別支援学校	17	4		13	4	4		12
7		学校・各種学校等	101	70		85		4	20	11
8		図書館・博物館・美術館等	6	2		2		3	1	3
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								2
10		車両の停車場等								
11		神社・寺院・教会等	49	2		3	5	27		5
12	イ	工場・作業場	445	73		188	1	2		70
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1							1
13	イ	自動車車庫・駐車場	29			6				18
	ロ	飛行機などの格納庫								
14		倉庫	296	24		85	2			54
15		前各項に該当しない事業場	286	25		75	3	60	14	104
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	164	6	9	109	2	21	18	135
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	79	6		21	1	4	2	17
16の2		地下街								
16の3		準地下街								
17		文化財等	7	1		7	2			3
合 計			2,441	268	59	1,069	47	288	142	1,003

用途別予防査察状況

(令和元年度中)

署 所 別 用 途 別				合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
					気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等		2	1	1					
	ロ	公会堂・集会場		59	4	13	9	1	10	6	16
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール		3	2			1			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等		2	2						
3	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店		71	15	9	3	16	2	23	3
4		百貨店・マーケット・店舗等		46	11	4	6	4		17	4
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等		79	5	3	8	2	23	24	14
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅		55	5	11	1	3	3	12	20
6	イ	(1) 病院等		2	2						
		(2) 診療所等									
		(3) 助産所等（入所施設有）		2	1	1					
		(4) 助産所等（入所施設無）		5	1	1			1	2	
	ロ	(1) 養護老人ホーム等		20	2	6	4		2	4	2
		(2) 救護施設									
		(3) 乳児院									
		(4) 障害児入所施設									
		(5) 障害者支援施設等		8		3	5				
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等		8	3	3					2
		(2) 更生施設									
		(3) 助産施設・保育所等		15	5	3	1	1	2	1	2
		(4) 児童発達支援センター等									
		(5) 身体障害者福祉センター等		7			5				2
	ニ	幼稚園・特別支援学校		6	2	2				2	
7		学校・各種学校等		39	6	11			4	13	5
8		図書館・博物館・美術館等		4	1					1	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									
10		車両の停車場等									
11		神社・寺院・教会等		22	2	8	2	4	3	1	2
12	イ	工場・作業場		82	3	21	6	4	5	14	29
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ									
13	イ	自動車車庫・駐車場		8	1	2	3	1		1	
	ロ	飛行機などの格納庫									
14		倉庫		61	6	16	3	2	1	18	15
15		前各項に該当しない事業場		76	13	16	5	12	9	13	8
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物		80	37	7	6	7	9	10	4
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		16	5	1	3	1		3	3
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財等		4				3		1	
合 計				782	135	142	70	62	74	166	133

用途別中高層建築物の現況

(令和2年3月31日現在)

区 分 用 途 別			対 法 象 第 物 17 数 条	法 第 8 条 対 象 物 数		中 高 層 建 築 物					
				甲種	乙種	3階	4階	5階	6階	7階	8階 以上
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2	2		1					
	ロ	公会堂・集会場	135	33	144	2					
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場・ダンスホール	10	10							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等	3	2	1						
3	イ	待合・料理店等									
	ロ	飲食店	62	19	46	2					
4		百貨店・マーケット・店舗等	155	77	46	5					
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	83	49	7	7		2	4		3
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	364	34	1	80	20	18	3	1	5
6	イ	(1) 病院等	3	2		2			1		
		(2) 診療所等		1							
		(3) 助産所等（入所施設有）	8	4		1	1	2			
		(4) 助産所等（入所施設無）	23	4		5					
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	34	30		2	2				
		(2) 救護施設									
		(3) 乳児院									
		(4) 障害児入所施設									
		(5) 障害者支援施設等	9	4							
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	20	7	6	1	2				
		(2) 更生施設									
		(3) 助産施設・保育所等	25	13	4	1					
		(4) 児童発達支援センター等	2	1							
		(5) 身体障害者福祉センター等	14	3	3						
	ニ	幼稚園・特別支援学校	17	10	2	1					
7		学校・各種学校等	105	37		28	7	1			
8		図書館・博物館・美術館等	6	2	1	1	1				
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等									
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場									
10		車両の停車場等	1								
11		神社・寺院・教会等	57	22	5		1				
12	イ	工場・作業場	454	18		14	2	2			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	1								
13	イ	自動車車庫・駐車場	18			1					
	ロ	飛行機などの格納庫									
14		倉庫	304			8	3	1			
15		前各項に該当しない事業場	342	51	16	37	4	5	2		
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	181	105	23	46	6	5	1	1	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	97	12	1	10	2	1			
16の2		地下街									
16の3		準地下街									
17		文化財等	7	1	1						
合 計			2,542	553	307	255	51	37	11	2	9

防火管理者を要する対象物

(令和2年3月31日現在)

署 所 別 用 途 別			合 計		気 仙 沼 市										南 三 陸 町			
					気仙沼消防署		本吉分署		唐桑出張所		古町出張所		大島出張所		南三陸消防署		歌津出張所	
					甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙	甲	乙
1	イ	劇場・映画館・演芸場等	2		1		1											
	ロ	公会堂・集会場	33	144	7	29	7	27	1	17	7	20	2	8	6	32	3	11
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等																
	ロ	遊技場・ダンスホール	10		6						4							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等																
	ニ	カラオケボックス等	2	1	2	1												
3	イ	待合・料理店等																
	ロ	飲食店	19	46	8	19	2	1	1	1	7	15		4	1	4		2
4		百貨店・マーケット・店舗等	77	46	40	21	4	3	1	2	24	11			8	7		2
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	49	7	10		2	1	3	4	7		11	2	11		5	
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	34	1	14		1				12				4	1	3	
6	イ	(1) 病院等	2		1						1							
		(2) 診療所等	1		1													
		(3) 助産所等（入所施設有）	4		1		1				2							
		(4) 助産所等（入所施設無）	4		2				1		1							
	ロ	(1) 養護老人ホーム等	30		6		6		3		8		2		3		2	
		(2) 救護施設																
		(3) 乳児院																
		(4) 障害児入所施設																
		(5) 障害者支援施設等	4				3		1									
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	7	6	2	2	3	2				1	2					1
		(2) 更生施設																
		(3) 助産施設・保育所等	13	4	4	1	1				4	3	1		1		2	
		(4) 児童発達支援センター等	1		1													
		(5) 身体障害者福祉センター等	3	3	2	2				1								1
	ニ	幼稚園・特別支援学校	10	2	3		3		1		2	1			1	1		
7		学校・各種学校等	37		12		6		3		7		1		5		3	
8		図書館・博物館・美術館等	2	1	1				1							1		
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等																
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場																
10		車両の停車場等																
11		神社・寺院・教会等	22	5	4	3	5		3		6	2	3				1	
12	イ	工場・作業場	18		10		3				3				2			
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ																
13	イ	自動車車庫・駐車場																
	ロ	飛行機などの格納庫																
14		倉庫																
15		前各項に該当しない事業場	51	16	14	6	4	4	4	3	22	1		1	7	1		
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	105	23	41	13	3		8	1	28	6	4	1	14	2	7	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	12	1	5		1		1		4				1	1		
16の2		地下街																
16の3		準地下街																
17		文化財等	1	1											1	1		
合 計			553	307	198	97	56	38	32	29	150	61	24	16	65	51	28	15

建築同意事務

(令和元年度中)

署 所 別 用 途 別			合 計	気 仙 沼 市				南 三 陸 町	
				気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
1	イ	劇場・映画館・演芸場等							
	ロ	公会堂・集会場	2					2	
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等							
	ロ	遊技場・ダンスホール							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	待合・料理店等							
	ロ	飲食店	16	9			3	4	
4		百貨店・マーケット・店舗等	11	7	2			2	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所等	1				1		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	11	7				1	3
6	イ	(1) 病院等							
		(2) 診療所等							
		(3) 助産所等（入所施設有）							
		(4) 助産所等（入所施設無）	2	2					
	ロ	(1) 養護老人ホーム等							
		(2) 救護施設							
		(3) 乳児院							
		(4) 障害児入所施設							
		(5) 障害者支援施設等							
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等							
		(2) 更生施設							
		(3) 助産施設・保育所等							
		(4) 児童発達支援センター等							
		(5) 身体障害者福祉センター等	1		1				
	ニ	幼稚園・特別支援学校							
7		学校・各種学校等	3	3					
8		図書館・博物館・美術館等							
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等							
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場							
10		車両の停車場等	2	2					
11		神社・寺院・教会等	2	1	1				
12	イ	工場・作業場	20	13		1		4	2
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫・駐車場	15	4		1		5	5
	ロ	飛行機などの格納庫							
14		倉庫	23	10	3	1		6	3
15		前各項に該当しない事業場	59	35	6	4		12	2
16	イ	特定部分を含む複合用途防火対象物	10	6	1		1	2	
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1	1					
	16の2	地下街							
	16の3	準地下街							
	専	用住宅	31	25	1	1	1	3	
	併	用住宅	5	4					1
	そ	の他	42	25	9	2	6		
合 計			257	154	24	10	12	41	16

※古町出張所管内分については、気仙沼消防署で審査している。

危 険 物

危険物施設

(令和2年3月31日現在)

署 所 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
			気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計		295	125	31	12	56	11	44	16
製 造 所									
貯 蔵 所	小 計	193	82	15	7	40	9	31	9
	屋 内	19	8	3		3	2	2	1
	屋 外 タ ン ク	23	15	1		2		5	
	屋 内 タ ン ク	5	4			1			
	地 下 タ ン ク	56	21	5	4	12	1	11	2
	簡 易 タ ン ク								
	移 動 タ ン ク	78	27	5	2	22	3	13	6
	屋 外	12	7	1	1		3		
取 扱 所	小 計	102	43	16	5	16	2	13	7
	給 油	46	17	7	3	7	2	5	5
	第 一 種 販 売								
	第 二 種 販 売								
	一 般	55	25	9	2	9		8	2
	移 送	1	1						

危険物施設の予防査察実施状況

(令和元年度中)

署 所 別 製造所等別		合 計	気 仙 沼 市					南 三 陸 町	
			気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計		171	79	23	5		6	42	16
製 造 所									
貯 蔵 所	小 計	113	58	12	2		5	27	9
	屋 内	6	1	3			1		1
	屋 外 タ ン ク	9	3	1				5	
	屋 内 タ ン ク								
	地 下 タ ン ク	24	10	2			1	9	2
	簡 易 タ ン ク								
	移 動 タ ン ク	72	44	5	2		2	13	6
	屋 外	2		1			1		
取 扱 所	小 計	58	21	11	3		1	15	7
	給 油	31	9	7	3		1	6	5
	第 一 種 販 売								
	第 二 種 販 売								
	一 般	27	12	4				9	2
	移 送								

危険物事務処理件数

(令和元年度中)

区分 製造所等別		許可		完成		(完成検査前検査 タンク検査)	仮 使 用	種 類 ・ 数 量 変 更	譲 渡 引 渡	廃 止 届	合 計
		設置	変更	設置	変更						
合 計		11	15	22	15		4	4	2	31	104
製 造 所											
貯 蔵 所	小 計	8	9	16	10			3	2	25	73
	屋 内	3		3						5	11
	屋外タンク	1		6						1	8
	屋内タンク										
	地下タンク									1	1
	簡易タンク										
	移動タンク	2	9	2	10			2	2	15	42
	屋 外	2		5				1		3	11
取 扱 所	小 計	3	6	6	5		4	1		6	31
	給 油	3	6	4	5		4			5	27
	第一種販売										
	第二種販売										
	一 般			1				1		1	3
	移 送			1							1

民 間 防 火 組 織

危険物安全協会結成状況

(令和2年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
気仙沼本吉地区危険物安全協会		S48. 4. 24	87	
気仙沼支部	小 計		68	
	気 仙 沼 市	S32. 3. 17	54	
	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S35. 8	4	
	気 仙 沼 市 本 吉 町	S35. 8	10	
南三陸支部	小 計		19	
	南 三 陸 町 志 津 川	S35. 8	13	
	南 三 陸 町 歌 津	S35. 8	6	

婦人防火クラブ結成状況

(令和2年4月1日現在)

ク ラ ブ 連 合 会 名	結成年月日	単位クラブ数	会 員 数	事 務 局 所 在 地
1 気 仙 沼 市	S56. 5. 28	10	1, 224	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2
2 唐 桑 町	S45. 6. 17	1	133	気仙沼市唐桑町只越346-13
3 本 吉 町	S50. 4. 9	38	3, 577	気仙沼市本吉町津谷松尾1-1
4 南 三 陸 町	H21. 4. 1	34	2, 539	南三陸町入谷字桜沢116-15
5 気仙沼本吉地区 婦人防火クラブ連合会	S56. 8. 11	83	7, 473	気仙沼市赤岩五駄鱈43-2

防火管理者協会結成状況

(令和2年4月1日現在)

名 称		結成年月日	会 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S42. 9. 28	147	
2	気 仙 沼 市 唐 桑 町	S52. 11. 21	38	
3	気 仙 沼 市 本 吉 町	S51. 8. 20	49	
4	南 三 陸 町	H26. 4. 22	92	
合 計			326	

幼年消防クラブ結成状況

(令和2年4月1日現在)

市 町 名		結成年月日	ク ラ ブ 数	ク ラ ブ 員 数	摘 要
1	気 仙 沼 市	S57. 6. 10	16	527	
2	気仙沼市唐桑町	H元. 12. 25	2	33	
3	気仙沼市本吉町	S59. 12. 4	4	162	
4	南三陸町志津川	S58. 3. 9	4	173	
5	南三陸町歌津	S56. 6. 4	2	107	
合 計			28	1,002	

少年消防クラブ結成状況

(令和2年4月1日現在)

ク ラ ブ 名		結成年月日	隊員数	所 在 地
1	中 井 小 学 校	S55. 7. 17	22	気仙沼市唐桑町中井134-3
2	唐 桑 〃	S55. 7. 23	20	気仙沼市唐桑町明戸208-6
3	気 仙 沼 〃	S63. 6. 4	32	気仙沼市笹が陣3-1
4	九 条 〃	H 3. 5. 17	36	気仙沼市九条327
5	津 谷 〃	H29. 4. 25	43	気仙沼市本吉町津谷松岡126
6	入 谷 〃	H29. 11. 13	60	南三陸町入谷字童子下193-2
7	志 津 川 〃	H29. 11. 15	155	南三陸町志津川字城場75-2
8	戸 倉 〃	H29. 11. 16	60	南三陸町戸倉字宇津野50-1
9	伊 里 前 〃	H29. 11. 16	122	南三陸町歌津字伊里前113
10	名 足 〃	H29. 11. 29	51	南三陸町歌津字中山14
11	階 上 中 学 校	H22. 4. 19	109	気仙沼市長磯中原125
12	歌 津 〃	H23. 2. 18	98	南三陸町歌津字伊里前123
13	志 津 川 〃	H29. 5. 19	204	南三陸町志津川字助作1-1
14	志 津 川 高等学校	H29. 6. 13	5	南三陸町志津川字廻館92-2
合 計			1,017	

警 防



第45回 広域消防技術大会(警防技術競技)



令和元年度「みやぎ県民防災の日」に伴う訓練

消 防 車 両

消防車両等の配置状況

(令和2年4月1日現在)

所 属 車 両	合 計	消 防 本 部	気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所
合 計	42	7	11	4	3	4	4	6	3
消 防 ポ ン プ 自 動 車	9	1 (非常用)	2	1	1	1	1	1	1
水 槽 付 ポ ン プ 自 動 車	3			1		1		1	
化 学 車	1		1						
小型動力ポンプ付水槽車	1		1						
は し ご 車 (30m 級)	1		1						
救 助 工 作 車	1		1						
水 難 救 助 車	1		1						
消 防 救 急 艇	1						1		
高 規 格 救 急 自 動 車	8	1 (非常用)	1	1	1	1	1	1	1
指 揮 車	4	2	1					1	
広 報 車	5	1		1	1		1		1
資 機 材 搬 送 車	2		1					1	
事 務 連 絡 車	1	1							
人 員 輸 送 車	1	1							
バ イ ク	3		1 (50cc)			1 (50cc)		1 (125cc)	

消防車両等の配置現況

(令和2年4月1日現在)

所 属	名 称	車 名	登録年月	経過年数	無 線 呼 称
消 防 本 部	消防ポンプ車(非常用)	日 野	H18.01	14	本 部 ポンプ 1
	高規格救急車(非常用)	ト ヨ タ	H17.11	14	〃 救 急 1
	指 揮 車	三 菱	H19.03	13	〃 指 揮 1
	指 揮 車	ト ヨ タ	H15.02	17	〃 指 揮 2
	広 報 車	日 産	H25.03	7	〃 広 報 1
	事 務 連 絡 車	ト ヨ タ	H14.12	17	
	人 員 輸 送 車	ト ヨ タ	R02.01	0	
気仙沼消防署	消 防 ポンプ自動車	日 野	H29.03	3	気仙沼 ポンプ 1
	消 防 ポンプ自動車	ト ヨ タ	H15.11	16	〃 ポンプ 2
	化 学 車	日 野	H22.12	9	〃 化 学 1
	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	H10.03	22	〃 タンク 1
	は し ご 車	日 野	H18.02	14	〃 梯 子 1
	救 助 工 作 車	日 野	H26.03	6	〃 救 助 1
	水 難 救 助 車	ト ヨ タ	H23.09	8	〃 救 助 2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H22.03	10	〃 救 急 1
	指 揮 車	三 菱	H19.02	13	〃 指 揮 1
	資 機 材 搬 送 車	日 野	H20.07	11	〃 搬 送 1
	バイク (ホンダ50)	ホ ン ダ	H23.07	8	
本 吉 分 署	消 防 ポンプ自動車	日 野	H19.01	13	本 吉 ポンプ 1
	水槽付ポンプ自動車	日 野	H31.03	1	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H25.02	7	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H20.07	11	〃 広 報 1
唐 桑 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	日 野	H30.03	2	唐 桑 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H28.12	3	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H26.11	5	〃 広 報 1
古 町 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	日 野	H25.03	7	古 町 ポンプ 1
	水槽付ポンプ自動車	日 野	H14.12	17	〃 ポンプ 2
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	R01.08	0	〃 救 急 1
	バイク (ホンダ50)	ホ ン ダ	H23.07	8	
大 島 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	日 野	H24.02	8	大 島 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H27.09	4	〃 救 急 1
	広 報 車	日 産	H24.03	8	〃 広 報 1
	消 防 救 急 艇	(株)石垣	H25.03	7	〃 救急艇 1
南三陸消防署	消 防 ポンプ自動車	日 野	H24.02	8	南三陸 ポンプ 1
	水槽付ポンプ自動車	日 野	R02.03	0	〃 水 槽 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H22.03	10	〃 救 急 1
	指 揮 車	日 産	H24.03	8	〃 指 揮 1
	資 機 材 搬 送 車	日 野	H24.03	8	〃 搬 送 1
	バイク (カワサキ125)	カ ワ サ キ	H23.07	8	
歌 津 出 張 所	消 防 ポンプ自動車	三 菱	H14.12	17	歌 津 ポンプ 1
	高規格救急自動車	ト ヨ タ	H30.02	2	〃 救 急 1
	広 報 車	三 菱	H26.11	5	〃 広 報 1

消防力の整備指針と現有

消防本部・署所の人員

(台数、算定人員は、消防施設整備計画実態調査：平成31年4月1日現在)

(現有人員数は、令和2年4月1日現在)

区 分		整 備 数 (台)	搭 乗 員	搭乗人員 に対する 整備台数 (台)	算 定 人 員 (人)		現 有 人員数 (人)	
					整備台数に対する 算定人員			
整備台数に対する人員 (消防隊員・救急隊員・救助隊員・指揮隊員)	消 防 ポ ン プ 自 動 車	11	5人搭乗	4	60	108	183	144
			4人搭乗	4	48			
			乗換運用	3	0			
	は し ご 自 動 車	1	5人搭乗	—	—	0		
			4人搭乗	—	—			
			乗換運用	1	0			
	化 学 消 防 車	1	5人搭乗	1	15	15		
			4人搭乗	—	—			
			乗換運用	—	—			
	大 型 化 学 車 等 (三 点 セ ッ ト)	0	—	—	—	—		
	消 防 艇	0	—	—	—	—		
	救 急 自 動 車	7	3人搭乗	3	27	27		
			兼務運用	4	0			
	救 助 工 作 車	1	5人搭乗	1	15	15		
	指 揮 車	2	3人搭乗	2	18	18		
特殊車等	小型動力ポンプ付 水 槽 車	1	乗換運用	1	0	0		
	水 難 救 助 車	1	乗換運用	1	0			
	消 防 救 急 艇	1	乗換運用	1	0			
	資 機 材 搬 送 車	2	乗換運用	2	0			
	広 報 車	4	乗換運用	4	0			
非常用車両等	非常用ポンプ車	1						
	非常用救急車	1						
	指揮車	2						
通 信 員							10	10
予 防 要 員							30	13
専任の予防要員							25	8
警防要員をもって充てる予防要員の数							5	5
総務事務等の執行のために必要な人員							22	19
消防本部及び署所の消防職員の総数							240	186

※大型化学車等の三点セットとは、「大型化学消防車」、「大型高所放水車」、「泡原液搬送車」をいう。

※「消防救急艇」は、固定の消防ポンプを装備していないため特殊車等に計上。

※「人員輸送車」「連絡車」「バイク」は含めず。

※消防職員の総数に予防要員の「警防要員をもって充てる予防要員の数」は含めず。

署所及び動力消防ポンプの基準と現有

(消防施設整備計画実態調査：平成31年4月1日現在)

市町名	地域名	署 所					動 力 消 防 ポ ン プ 数											
		人 口 (人)	算 定 数	整 備 数	不 足 数	比 率	署所管理分				消防団管理分							
							算 定 数	整 備 数	不 足 数	比 率	算定数		整備数		不足数		比 率	
											消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 手 引 動 力 ポ ン プ	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 手 引 動 力 ポ ン プ	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 手 引 動 力 ポ ン プ	消 防 ポ ン プ 自 動 車	小 手 引 動 力 ポ ン プ
											(台)	(口)	(台)	(口)	(台)	(口)	(%)	(%)
			①	ア	①－ア	ア/① ×100	②	イ	②－イ	イ/② ×100	③	④	ウ	エ	③－ウ	④－エ	ウ/③×100	エ/④×100
気仙沼市	市街地	26,994	2	2	0	100	4	4	0	100	8	6	8	6	0	0	100	100
	準市街地	23,836	3	3	0	100	4	4	0	100	6	49	6	34	0	15	100	69.4
	その他	11,096				—				—	3	32	3	32	0	0	100	100
	計	61,926	5	5	0	100	8	8	0	100	17	87	17	72	0	15	100	82.8
南三陸町	市街地	—				—				—							—	—
	準市街地	5,595	2	2	0	100	3	3	0	100	0	15	0	12	0	3	—	80.0
	その他	5,872				—				—	0	29	0	29	0	0	—	100
	計	11,467	2	2	0	100	3	3	0	100	0	44	0	41	0	3	—	93.2
広域	市街地	26,994	2	2	0	100	4	4	0	100	8	6	8	6	0	0	100	100
	準市街地	29,431	5	5	0	100	7	7	0	100	6	64	6	46	0	18	100	71.9
	その他	16,968				—				—	3	61	3	61	0	0	100	100
	計	73,393	7	7	0	100	11	11	0	100	17	131	17	113	0	18	100	86.3

消 防 水 利

管内水利状況

(令和2年4月1日現在)

署 所 種 別			気仙沼消防署		大島出張所		唐桑出張所		本吉分署		南三陸消防署		歌津出張所		合 計	
合 計 (A) + (B) + (C)			1,088		106		137		407		274		148		2,160	
消 火 栓	小 計 (A)	地 上	452	915	52	70	81	85	182	220	28	163	29	61	824	1,514
		地 下	463		18		4		38		135		32		690	
	公 設	地 上	418		52		81		180		27		29		787	
		地 下	441		18		4		37		135		32		667	
	私 設	地 上	34						2		1				37	
		地 下	22						1						23	
防 火 水 槽	小 計 (B)		159		35		49		183		105		85		616	
	100㎡以上		14						4		1		1		20	
	40㎡以上 100㎡未満		105		29		39		111		92		80		456	
	40㎡未満		40		6		10		68		12		4		140	
プ ー ル (C)			14		1		3		4		6		2		30	

※古町出張所管轄の消防水利は気仙沼消防署に含まれる。

通 信



消防救急デジタル無線



消防指令センター 指令台



通 信

通信施設の現況

(令和2年4月1日現在)

所 属 区 分			合 計	消 防 本 部	管内 消防署内						南三陸消防署内			
					気 管 気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	小 計	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所	小 計	
有 線	火 災 報 知 専 用 電 話		14	14										
	加 入	一 般 回 線	22	14		2	1	1	1	5	2	1	3	
		テレホンサービス	1	1										
		F A X	7	1		1	1	1	1	4	1	1	2	
	I T 回 線	順 次 指 令 メ ー ル	1	1										
		N e t 119	1	1										
		メ ー ル 119	1	1										
	指 令 ・ 無 線 専 用 回 線		13	5	1	1	1	1	1	5	2	1	3	
	直 通 電 話		3	2		1				1				
衛 星 携 帯 電 話			10	3	1	1	1	1	1	5	1	1	2	
自 動 車 ・ 携 帯 用 電 話			7		1	1	1	1	1	5	1	1	2	
デ ジ タ ル 無 線	消 防	固 定 局		5	5									
		基 地 局		3	3									
		中 継 局		1	1									
		陸上移動局	卓上型固定	6			1	1	1	1	4	1	1	2
			可 搬	4	1	1					1	2		2
			車 載	38	6	10	4	3	3	4	24	5	3	8
			携 帯	31	3	8	3	3	3	3	20	5	3	8
		車 両 運 用 端 末 装 置		37	5	10	4	3	3	4	24	5	3	8

119 番 受 信 件 数

(令和元年)

種別	月別												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	0	6	9	12	2	2	0	1	1	4	6	2	45
	(0)	(4)	(8)	(5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(2)	(22)
救 急	303	224	224	204	244	213	240	306	267	282	278	299	3,084
	(119)	(95)	(92)	(88)	(102)	(80)	(98)	(165)	(128)	(141)	(127)	(129)	(1364)
救 助	0	0	2	1	2	0	3	3	4	2	3	2	22
	(0)	(0)	(2)	(1)	(2)	(0)	(2)	(3)	(2)	(1)	(2)	(1)	(16)
そ の 他 災 害	1	0	2	3	0	1	4	5	4	20	4	2	46
	(0)	(0)	(2)	(3)	(0)	(1)	(2)	(2)	(4)	(12)	(3)	(1)	(30)
誤 り	10	2	7	9	12	10	14	6	11	7	12	13	113
	(6)	(1)	(2)	(4)	(8)	(4)	(9)	(2)	(9)	(5)	(8)	(6)	(64)
いた ず ら 等	1	0	1	0	0	2	2	1	0	0	0	1	8
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)
訓 練 ・ 演 習	26	47	101	36	61	72	74	30	57	76	142	65	787
	(6)	(12)	(38)	(14)	(19)	(15)	(18)	(8)	(14)	(23)	(47)	(17)	(231)
試 験	14	10	31	61	19	20	16	11	39	23	14	9	267
	(4)	(0)	(2)	(17)	(2)	(1)	(4)	(0)	(24)	(5)	(2)	(0)	(61)
そ の 他	26	16	40	36	37	40	36	36	51	50	48	39	455
	(11)	(4)	(12)	(19)	(17)	(19)	(14)	(20)	(32)	(26)	(28)	(22)	(224)
1 1 9 転 送	1	1	1	1	2	2	0	2	0	3	1	3	17
	(1)	(0)	(1)	(1)	(2)	(1)	(0)	(2)	(0)	(3)	(1)	(3)	(15)
合 計	382	306	418	363	379	362	389	401	434	467	508	435	4,844
	(147)	(116)	(159)	(152)	(152)	(122)	(147)	(202)	(213)	(216)	(221)	(181)	(2028)

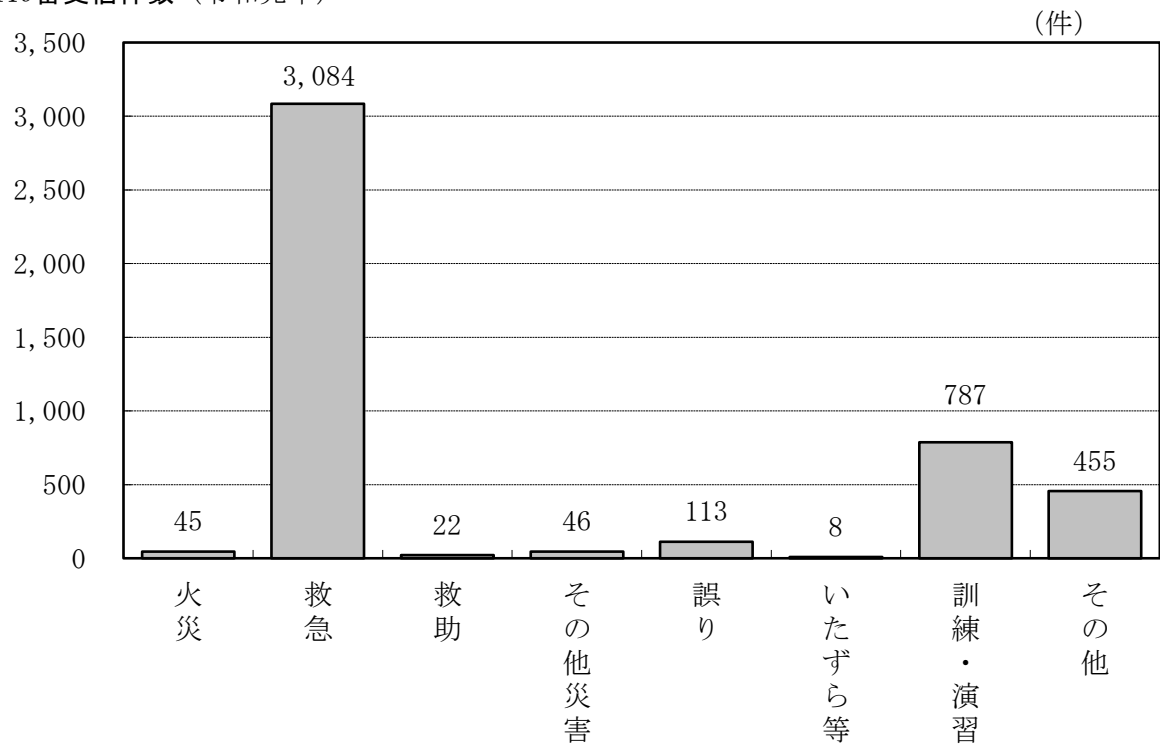
※FAX119・メール119含む

※（ ）は受信件数のうち、携帯電話からの入電件数。

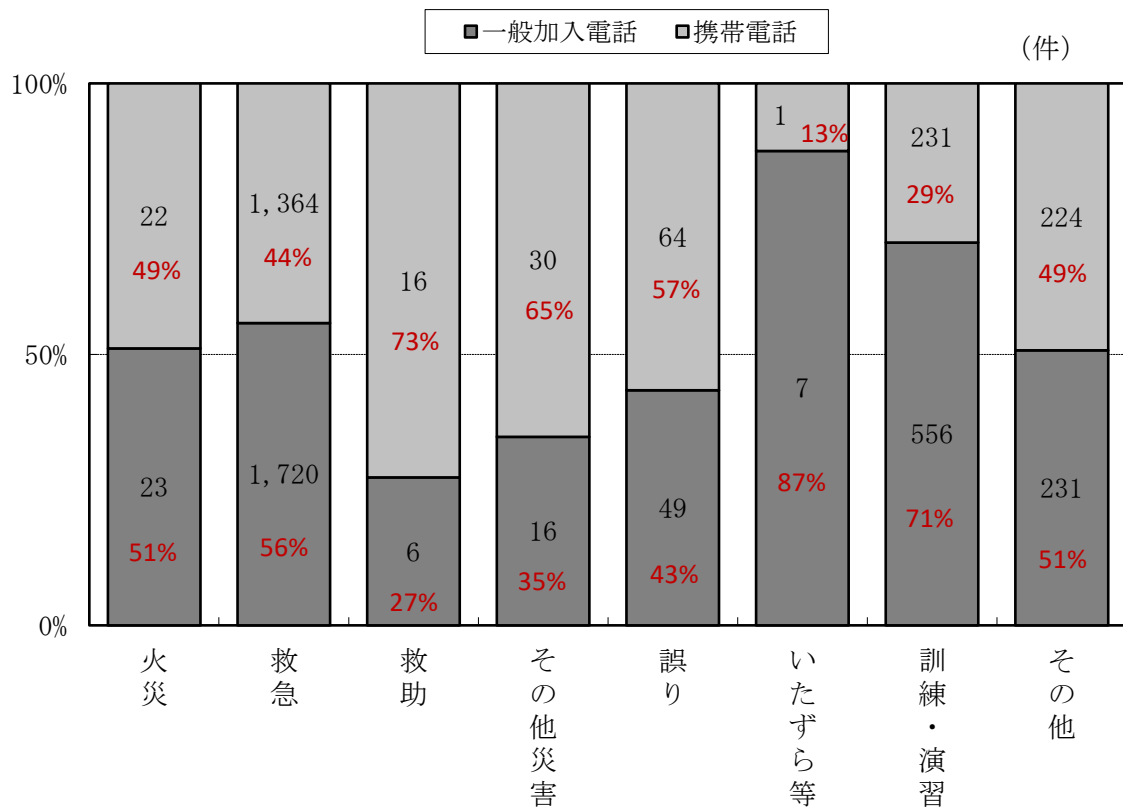
※火災・救急・救助には第2報、第3報も含む。

※「119転送」とは、管轄外で発生している災害を携帯電話等による通報で受信した際に、管轄する消防本部へ転送した件数。

119番受信件数（令和元年）



119番通報 一般加入電話・携帯電話比率（令和元年）



119番通報全体に占める携帯電話比率・・・43%

※ 「試験」「FAX119」「携帯119転送」は除く。

通 信 系 統 図

(令和2年4月1日現在)



気 象 統 計

(令和元年)

気仙沼市（観測地：防災センター）																	
月	平均		最大瞬間		気温			湿度				気圧		雨量			
	風速	風向	風速	風向	平均	最高	最低	平均	最高	最低	実効	現地	海面	10分最大	時間最大	日最大	月積算
	(m/s)		(m/s)		(℃)			(%)				(hPa)		(mm)			
1月	1.9	西北西	19.4	西北西	0.7	8.8	-5.4	80.8	98.3	44.1	81	1011.5	1014.7	0.5	1	1.5	3
2月	1.8	西北西	23.2	西北西	1.8	14.5	-5.6	76.9	99.1	28.8	77	1014.1	1017.4	2	6.5	9.5	24
3月	1.7	西北西	18.1	北西	4.9	17.6	-3	77.6	98.6	32.4	77.2	1009.2	1012.4	2	9	41.5	61
4月	1.7	南東	19.5	西	8.5	21.2	-1.3	77.9	98.8	27.7	76.9	1009.4	1012.6	1.5	5.5	38	94
5月	1.5	南東	20.7	西	15.4	34.4	5.1	78.3	99.1	24.1	78.9	1009.6	1012.7	2.5	10.5	74.5	125
6月	1.2	南東	15.2	北東	17.1	27.7	10.1	93.3	99.1	51.1	91.6	1005	1008	4	11.5	39.5	135.5
7月	1	南東	10.8	北東	21.2	34.8	16	94.1	99.1	45.8	94.5	1007.1	1010.1	2.5	7.5	35	104.5
8月	1	南東	11.2	西	24.7	35.1	17.5	93	99.1	50.8	92.6	1005.8	1008.8	11	33.5	58	204
9月	1.1	北北西	14	西南西	21	32.9	11.3	89.9	99.1	41.6	89.9	1012.4	1015.4	2	6	14	36
10月	1.6	北北西	23.1	北東	15.6	24.8	6	90.8	99.1	48.6	90.5	1013.9	1017	8.5	36.5	124	458
11月	1.6	西北西	22.5	西北西	8.2	20	-3.3	82.1	99.1	37.5	82.8	1014.6	1017.8	7.5	11	19	28.5
12月	1.5	西北西	20.5	西	3.7	16.4	-3.5	85.2	99.1	45.5	84.2	1015.5	1018.8	1	3	8	24.5
平均値	1.5	西北西			11.9			85				84.8	1010.7	1013.8			
最高値	10.8	北東	23.2	西北西		35.1			99.1		98	1031.3	1034.6	11	36.5	124	458
起時	10月12日		2月4日			8月1日		2月21日			7月25日	11月22日	11月22日	8月27日	10月12日	10月12日	10月
最低値						-5.6			24.1		61.4	979.5	982.5				
起時						2月14日			5月9日	5月10日	10月13日	10月13日					
風向頻	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
%	7.9	0.2	3.5	1.7	2.8	2.5	19.5	2.8	1	0	0.2	0.7	4.8	21	9.7	20.8	0.9

南三陸町（観測地：南三陸消防署）																	
月	平均		最大瞬間		気温			湿度				気圧		雨量			
	風速	風向	風速	風向	平均	最高	最低	平均	最高	最低	実効	現地	海面	10分最大	時間最大	日最大	月積算
	(m/s)		(m/s)		(℃)			(%)				(hPa)		(mm)			
1月	1.7	西	17.8	北西	1.3	9.4	-4.7	71.8	97.2	38.8	71.9	1008	1015.2	0.5	1	1.5	2
2月	1.5	西	21.2	西	2.4	14.4	-6.4	69.3	98	26.9	69.2	1010.6	1017.7	0.5	2.5	4	14.5
3月	1.6	西	18.3	西	5.6	17.3	-2.6	68.7	98	25	68.2	1005.7	1012.8	1.5	6	45	72
4月	1.6	西	18.8	西	9.2	22.4	-1.8	69.5	98.3	15.8	68.5	1006	1012.9	2	6	24.5	100
5月	1.5	西	20.4	西	16.7	34.7	4.5	67.6	98.6	19.1	68.6	1006.2	1013	3.5	17	38.5	47.5
6月	1	東南東	16.1	西	17.8	31.2	10.3	87.2	99.1	34.9	84.9	1001.6	1008.2	6.5	11	36.5	147
7月	0.9	東南東	12.4	東北東	21.7	35.8	15.3	88.5	99.1	48.3	89.6	1003.8	1010.3	7.5	16.5	46.5	132
8月	1	東北東	15.2	西北西	25.6	37.5	18.1	82.9	98	31.6	82.3	1006	1012.5	14.5	17.5	45.5	147
9月	1	東北東	17	西	21.8	34.4	11	79.7	98	33	80	1013.6	1020.2	5.5	10.5	23.5	50.5
10月	1.3	東北東	23	東北東	16.2	30.9	5.7	82.6	98.3	29.4	82	1015	1021.8	8.5	44	169	513
11月	1.2	西	18	北西	8.8	21.6	-3.6	73.2	98	28	73.9	1015.9	1023	1.5	2.5	4.5	12
12月	1.1	西	18.8	西	4.6	20.4	-4	76.2	97.7	32.4	75.4	1016.9	1024	1.5	5	10	32
平均値	1.3	西			12.6			76.4				76.2	1009.1	1016			
最高値	9.7	西	23	東北東		37.5			99.1		95.5	1032.9	1040	14.5	44	169	513
起時	2月4日		10月12日			8月18日		6月22日			7月24日	11月22日	11月22日	8月8日	10月13日	10月12日	10月
最低値						-6.4			15.8		48.9	977.9	984.4				
起時						2月15日			4月17日		5月10日	6月16日	6月16日				
風向頻	北	北北東	北東	東北東	東	東南東	南東	南南東	南	南南西	南西	西南西	西	西北西	北西	北北西	静穏
%	2.4	1.3	3	6.1	3.4	5.7	5.8	1.5	1.2	1.1	1.6	6.1	31.1	21.3	5.6	2	0.8

気象情報等の受信件数

(令和元年)

種 別 \ 月 別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	波 浪					1				1	2			4
	大 雨								1		2			3
	洪 水					1	1		1		2			5
	暴 風	2	1	1	1	1				1	2	1	2	12
	大 雪													
	暴 風 雪													
	津 波													
	大 津 波													
	高 潮										1			1
警 報 計		2	1	1	1	3	1		2	2	9	1	2	25
注 意 報	乾 燥	5	6	7	8	4	1					6	2	39
	強 風	11	8	9	11	5	4	4	2	3	9	9	13	88
	波 浪	4	2	6	6	2	2	1	3	4	8	3	3	44
	大 雨					2	1	1	4		8			16
	洪 水					1	3	3	3		8	1		19
	雷			3	3	4	9	6	12	3	3	2	1	46
	濃 霧		2	1	6	9	12	6	11	14	13	4	4	82
	大 雪			1										1
	風 雪	1	1	1									1	4
	着 雪			1										1
	低 温	3	1					1						5
	霜			9	13							4		26
	高 潮									1	3			4
	津 波													
注 意 報 計		24	20	38	47	27	32	22	35	25	52	29	24	375
警報・注意報計		26	21	39	48	30	33	22	37	27	61	30	26	400

火 災 気 象 通 報	8	6	7	4	7	3				3	9	6	53
-------------	---	---	---	---	---	---	--	--	--	---	---	---	----

地 震	震 度 1	4	4	3	6	4	8	4	8	3	6	6	3	59
	震 度 2	2	1		1	3				3	1		4	15
	震 度 3			1		1	1	1	1					5
	震 度 4													
	震 度 5 弱													
	震 度 5 強													
	震 度 6 弱													
	震 度 6 強													
	震 度 7													
地 震 計		6	5	4	7	8	9	5	9	6	7	6	7	79

※震度は、気仙沼・本吉広域防災センター（気象庁設置）の震度計データ。

管内消防団

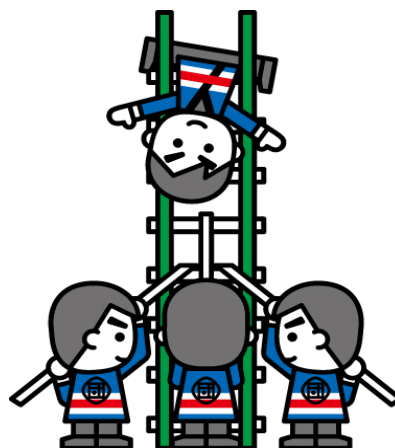
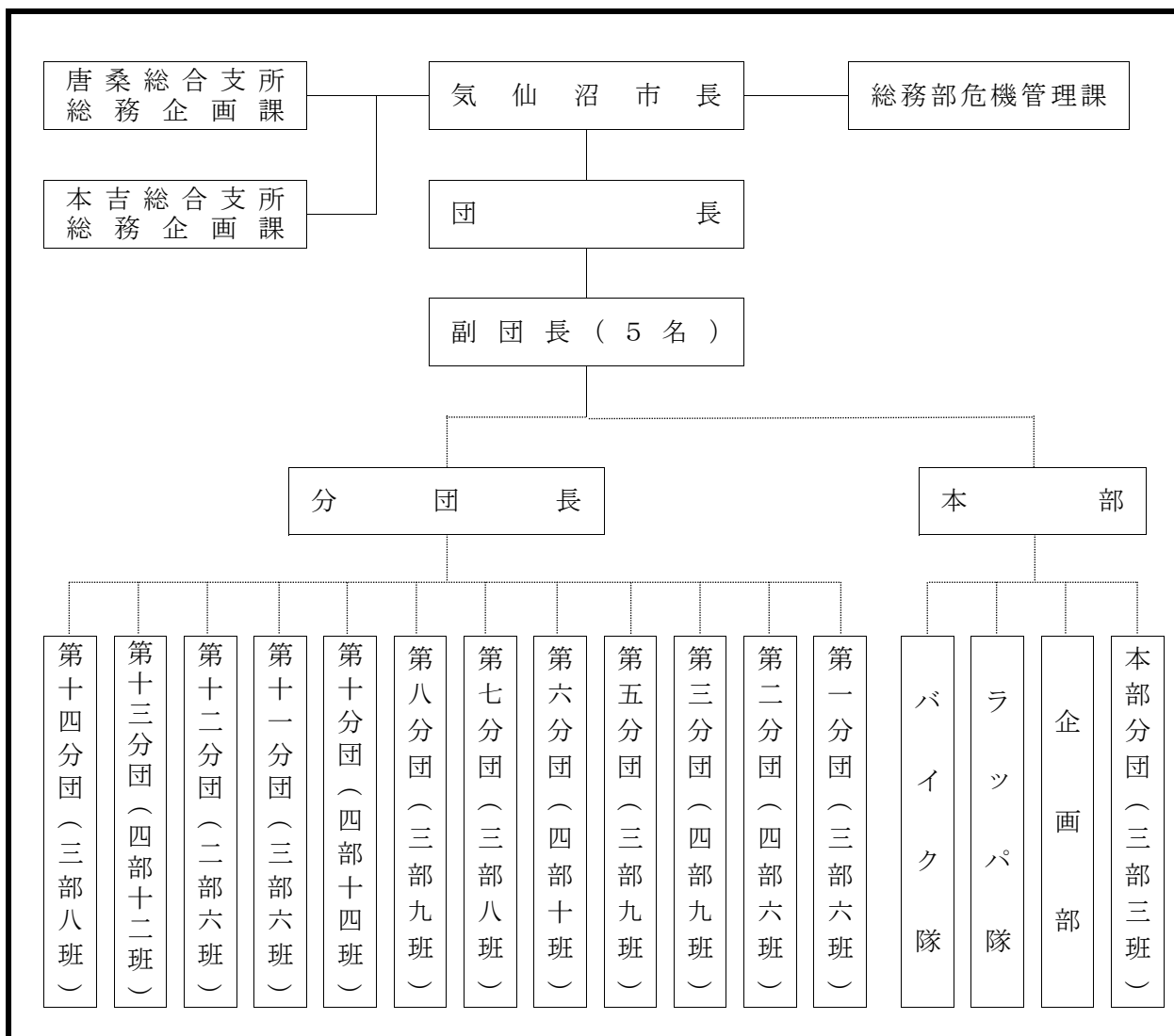


令和2年春の火災予防運動出発式

管内消防団

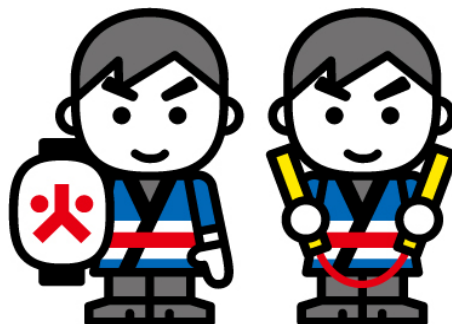
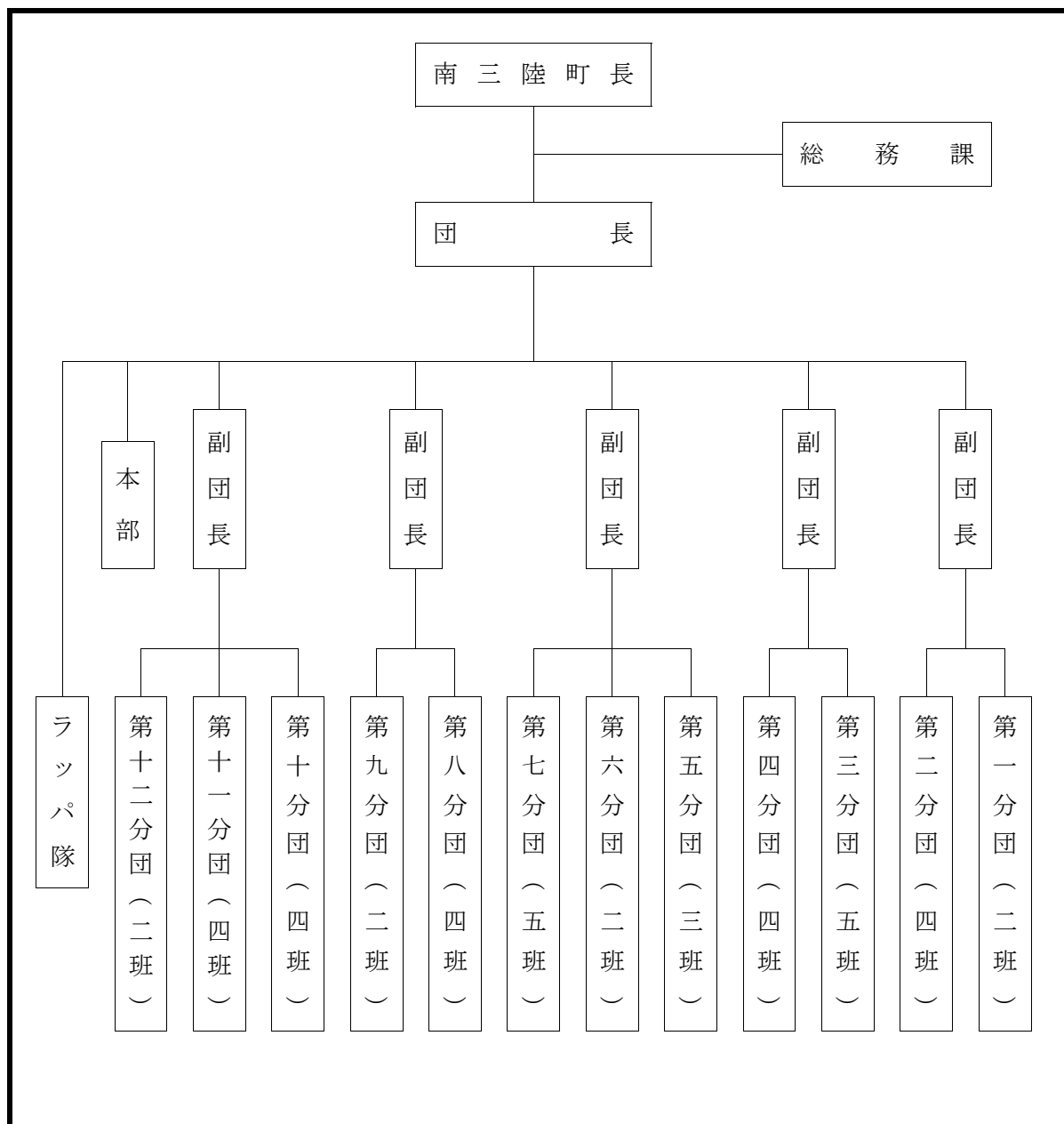
組織機構図：気仙沼市消防団

(令和2年4月1日現在)



組織機構図：南三陸町消防団

(令和2年4月1日現在)



組 織 (令和2年4月1日現在)

区 分 市 町	団 数	分 団 数	部 数	班 数	条例定員数	実 員 数
気 仙 沼 市	1	13	43	106	900	731
南 三 陸 町	1	12		41	500	443
合 計	2	25	43	147	1,400	1,174

階級別消防団員数 (令和2年4月1日現在)

階 級 市 町	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
気 仙 沼 市	1	5	13	26	43	106	537	731
南 三 陸 町	1	5	12	15		40	370	443
合 計	2	10	25	41	43	146	907	1,174

年齢別消防団員数 (令和2年4月1日現在)

年 齢 市 町	20歳未満	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	合 計
気 仙 沼 市	0	34	132	225	200	140	731
南 三 陸 町	0	28	104	160	125	26	443
合 計	0	62	236	385	325	166	1,174

在職年数別消防団員数

(令和2年4月1日現在)

年 数 市 町	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合 計
気 仙 沼 市	123	103	124	95	78	74	134	731
南 三 陸 町	99	62	73	74	50	47	38	443
合 計	222	165	197	169	128	121	172	1,174

消防団員報酬

(令和2年4月1日現在) (単位：円)

報 酬 市 町	年 報 酬							出動報酬
	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	
気 仙 沼 市	94,900	77,300	59,200	50,200	42,000	35,400	27,500	5,400
南 三 陸 町	106,800	78,000	58,800	52,800		46,800	24,000	4,000

消防施設の現況

(令和2年4月1日現在)

施 設 市 町	消防ポンプ 自 動 車	積 載 車	小型動力 ポ ン プ	消 火 栓	防火水槽	プール等
気 仙 沼 市	18	68	5	1,290	426	33
南 三 陸 町	2	41	2	230	200	9
合 計	20	109	7	1,520	626	42

火災・救急・救助統計



令和2年2月 気仙沼市唐桑町宿浦地内 交通救助

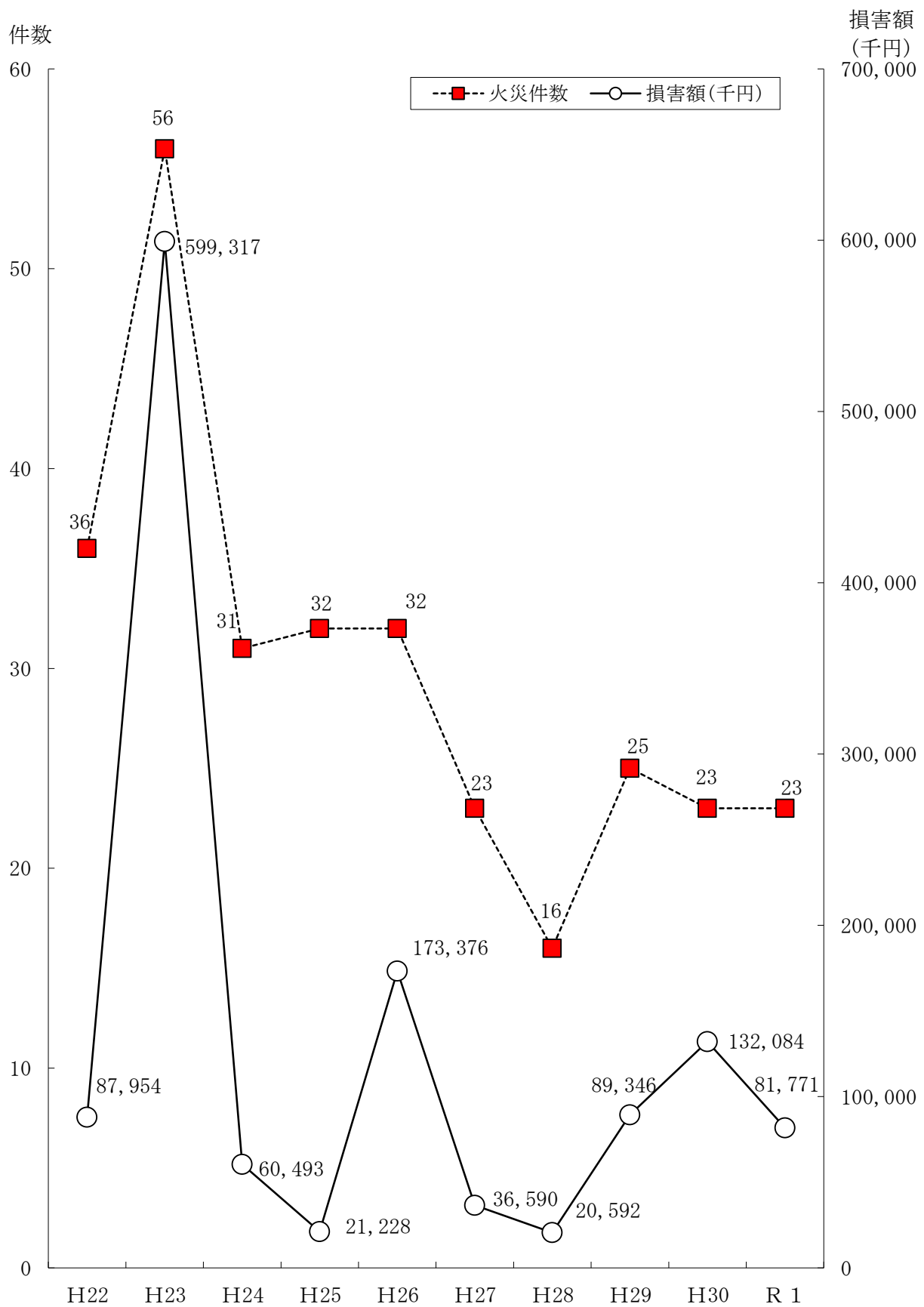


令和元年度 全国統一防火標語

ひとつずつ いいね！で確認 火の用心



火災件数及び損害額の推移

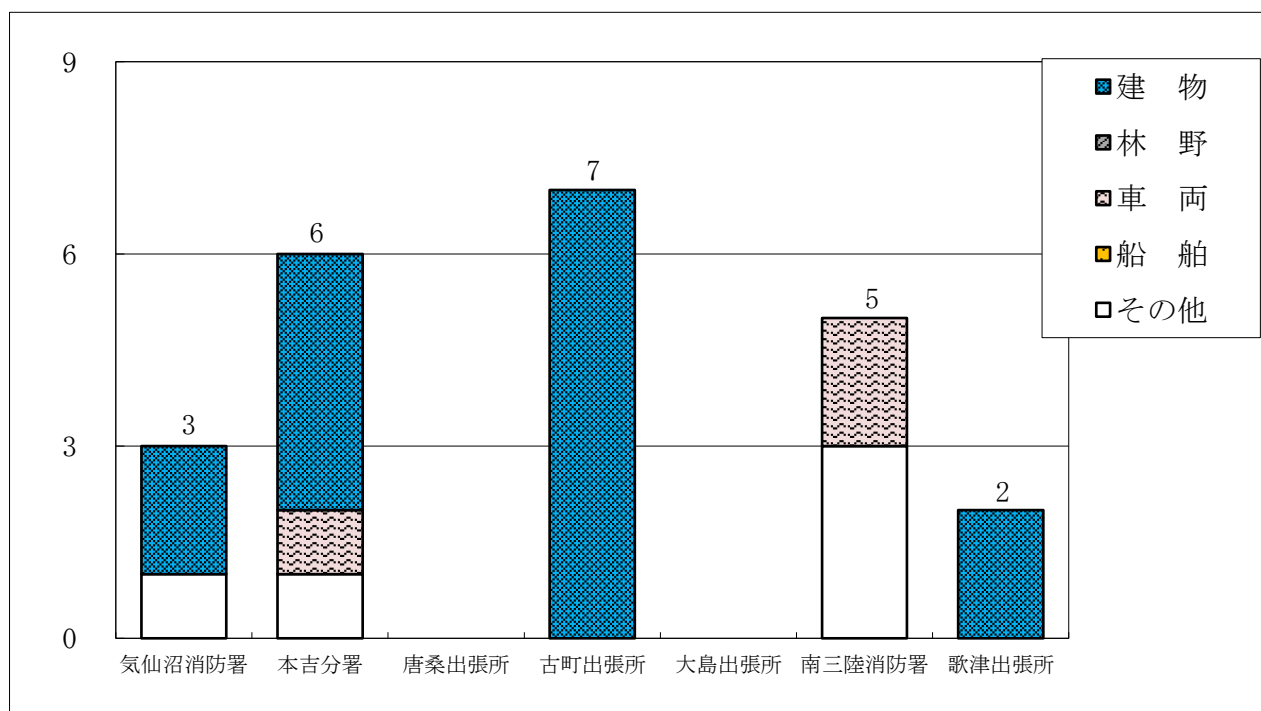


署 所 別 火 災 発 生 状 況

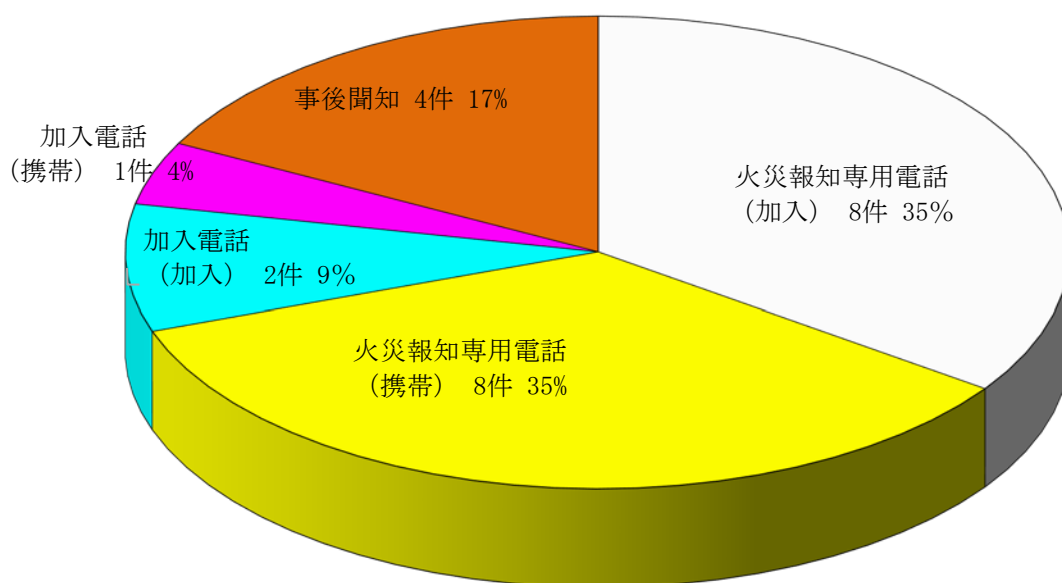
(令和元年)

署所別 区 分		気 仙 沼 消 防 署	本 吉 分 署	唐 桑 出 張 所	古 町 出 張 所	大 島 出 張 所	南 三 陸 消 防 署	歌 津 出 張 所	総 計
火 災 件 数	建 物	2	4		7			2	15
	林 野								
	車 両		1				2		3
	船 舶								
	そ の 他	1	1				3		5
	合 計	3	6		7		5	2	23
り 災 棟 数	全 焼		6		7			7	20
	半 焼								
	部 分 焼	1	3		4				8
	ぼ や	1	1		6			1	9
	合 計	2	10		17			8	37
建物焼損床面積 (㎡)			349		1,154			121	1,624
内類焼									
建物焼損表面積 (㎡)		1	13		8				22
内類焼			2						2
林野焼損面積 (a)					1				1
内類焼					1				1
り 災 世 帯 数		2	5		10			1	18
り 災 人 員		5	7		24			2	38
損 害 額 (千円)	建 物	12	21,947		54,094			3,451	79,504
	内類焼		3						3
	林 野				397				397
	内類焼				397				397
	車 両		735				780	65	1,580
	内類焼		600					65	665
	船 舶								
	内類焼								
	そ の 他		1		71			218	290
	内類焼		1		71			218	290
	合 計	12	22,683		54,562		780	3,734	81,771
	内類焼		604		468			283	1,355
死 者									
負 傷 者			1		2				3
放 水 火 災 件 数		1	4		4		1	2	12

火災件数



覚知別火災発生状況

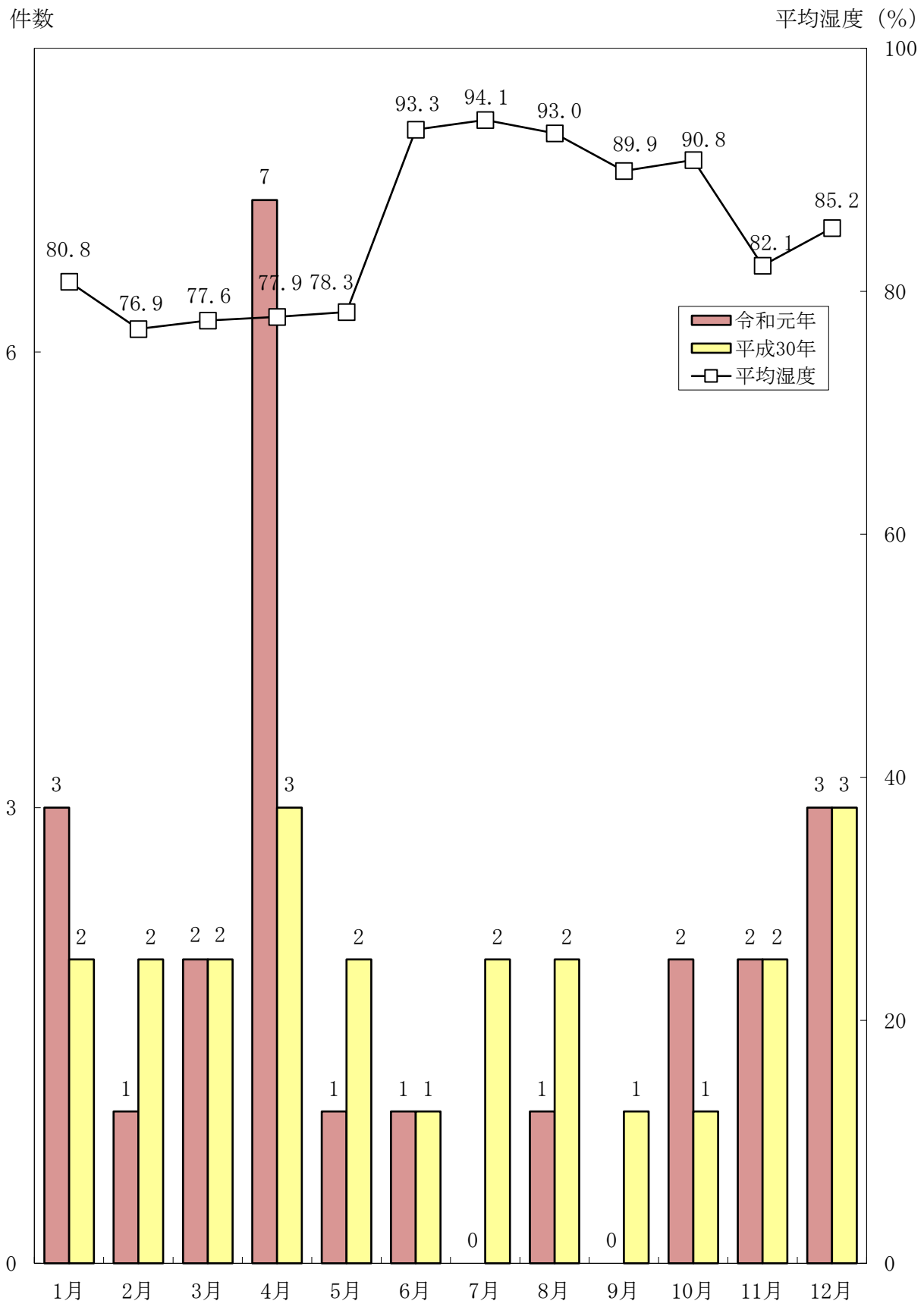


月別火災発生状況

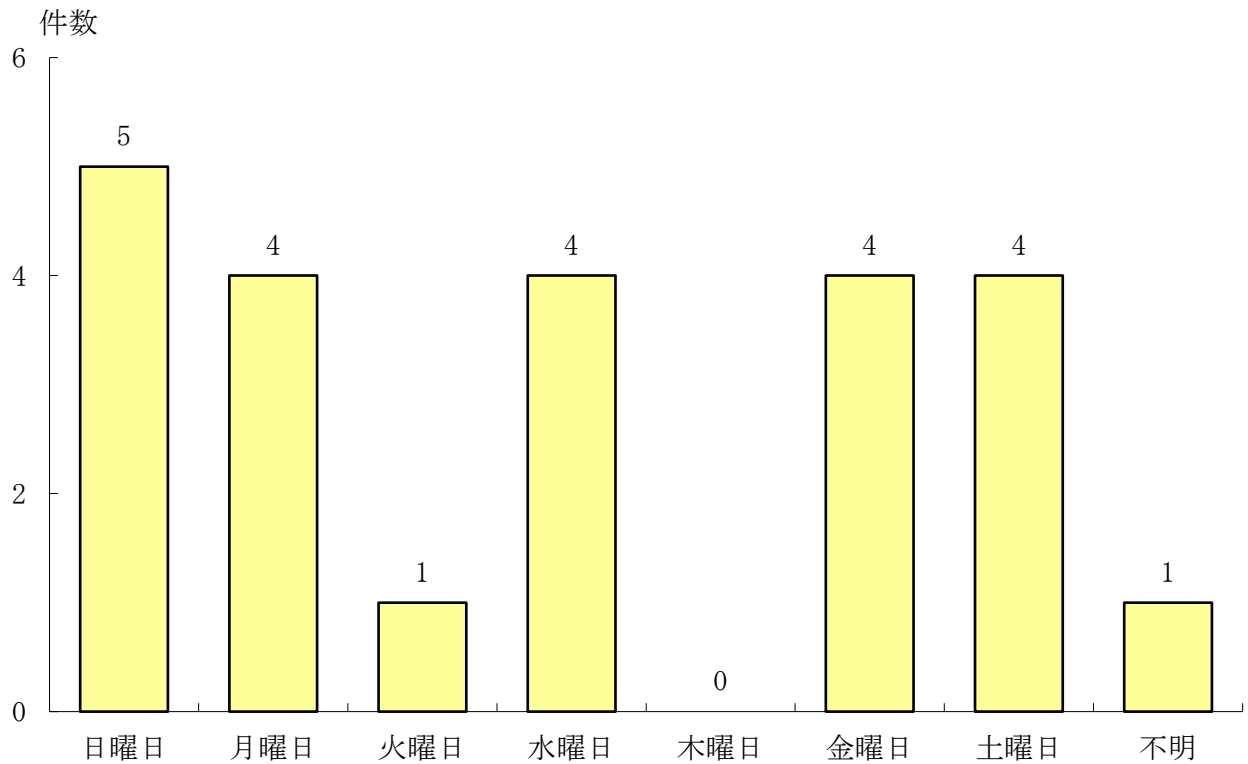
月 別 区 分				1 月			2 月			3 月			4 月			5 月			6 月				
火災 事件 数	建物	全焼	焼		1		1		1	2		2	3		4		1		1		1		
		半焼	焼																				
		部分焼	焼																				
		ぼや	や	1						1													
	林野	野	3			1			2			7			1			1					
	車両	両																			2		
	船舶	舶																					
その他	他							3			1												
り災 棟数	棟数	全焼	焼		1		1		4	6		7	7		11								
		半焼	焼																				
		部分焼	焼			2	1	2															
		ぼや	や	1		1		2															
	世帯数	全損	損		1		2		4	1		1	2		5								
		半損	損																				
		小損	損	1		2		3															
建物	焼損床面積(㎡)						79			215			256										
		内類焼																					
	焼損表面積(㎡)						8			7			6										
		内類焼											2										
林野焼損面積(a)																							
	内類焼																						
損害 額 (千円)	建物	建物	物	2			1,360			5,011			17,627										
			内類焼							3													
	物	収容物	物	2			167			1,991			670										
			内類焼																				
	林野	林野	野																				
			内類焼																				
	車両	車両	両	780						610			55						135				
			内類焼							610			55										
	船舶	船舶	舶																				
			内類焼																				
	その他	その他	他							218			1										
			内類焼							218			1										
合計			784			1,527			7,830			18,353						135					
	内類焼									828			59										
死者																							
負傷者							1			1													
放水火災件数							1			2			5			1							
放水ポンプ台数							7			15			21			2							
出動延べ人員(吏員)				14			34			31			132			25							
出動延べ人員(団員)							39			141			368			25							

7 月			8 月			9 月			10 月			11 月			12 月			合 計		
			1									1			1			9		
				1						2			2			2			15	
									1			1						2		
					1				1					2	1		3	4		23
										2			2							
																			3	
															1			5		
			1									4			1				20	
				1						2			7			4				37
									1			2						8		
									1			1			3			9		
										1		1			1			7		
											1		2			4				18
									1			1			3			11		
				147						4		879			44				1,624	
												1							22	
																			2	
				1															1	
				1															1	
				14,751						74		36,287			365				75,477	
																			3	
										145		719			333				4,027	
				397															397	
				397															397	
																			1,580	
																			665	
												64			7				290	
												64			7				290	
				15,148						219		37,070			705				81,771	
				397								64			7				1,355	
															1				3	
				1								1			1				12	
				4								12			1				62	
				23						26		51			36				372	
				80						25		203			59				940	

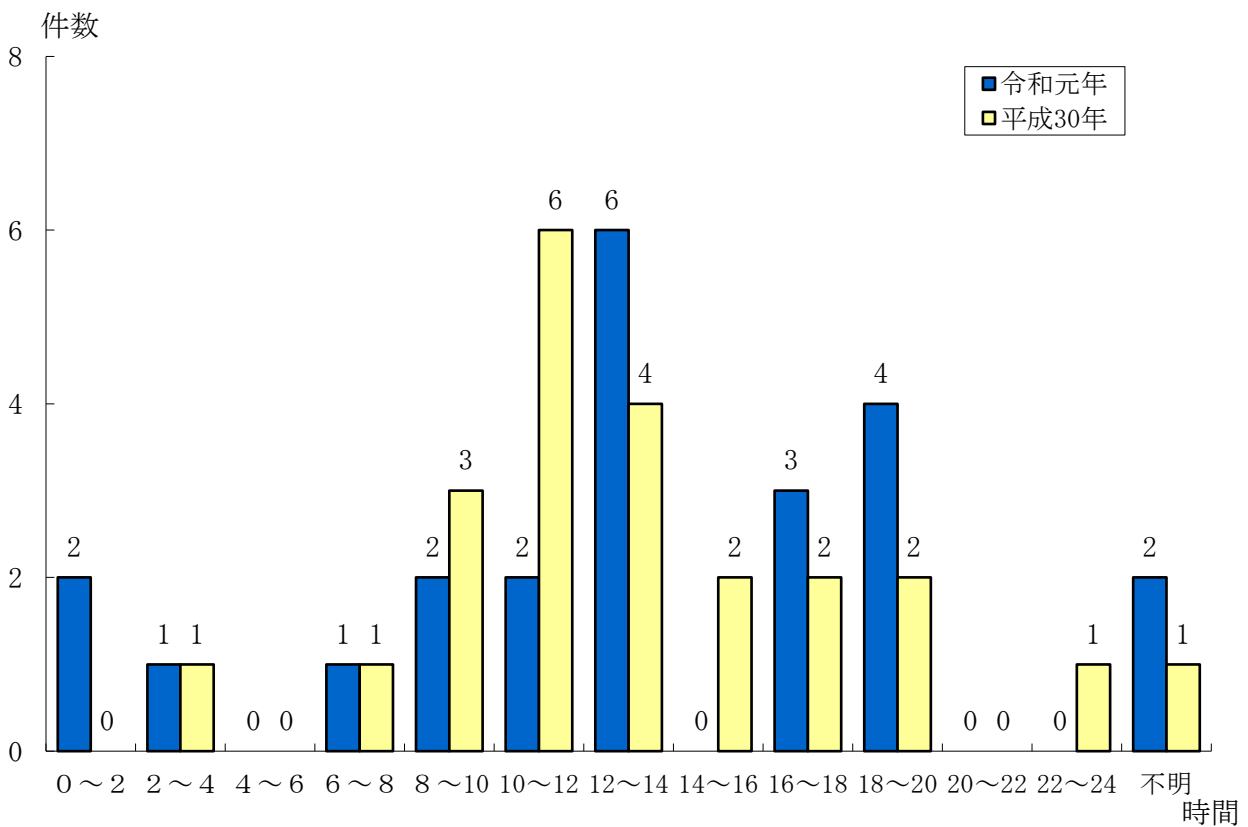
月別火災発生状況



曜日別火災発生状況



時間別火災発生状況



原因別火災発生状況・損害額

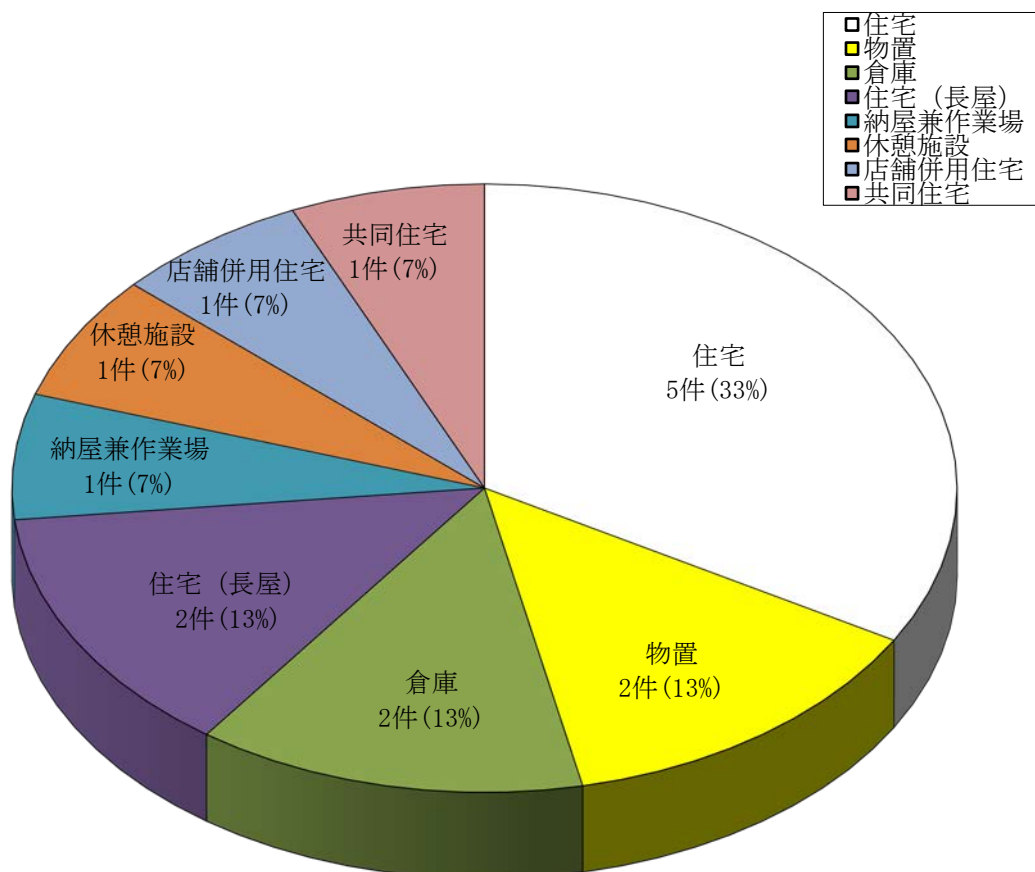
原 因		年 別	令 和 元 年		平 成 30 年	
		件数・損害額	件数	損害額（千円）	件数	損害額（千円）
失 火	電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線 （ 短 絡 ， 被 覆 損 傷 ）	3	10,285			
	ストーブ（可燃物落下，過熱）	3	1,548	1	10	
	コンロ（放置，ガスに引火）	2	97	1	247	
	ゴミ 焼 き （ 火 源 接 触 ）	2	0	2	0	
	取 灰 （ 火 源 転 倒 ）	1	892			
	交 通 機 関 内 配 線 （ 短 絡 ）	1	700			
	火 遊 び （ ラ イ タ ー ）	1	107			
	レ ン ズ （ 収 れ ん ）	1	4			
	溶 融 片 （ 火 源 落 下 ）	1	0			
	溶接機・溶断機（伝導過熱，火花）			2	36,074	
	調 理 器 具 （ 放 置 ）			1	24,202	
	木 く ず （ 自 然 発 火 ）			1	550	
	車 両 （ ブ レ ー キ の 摩 擦 ）			1	120	
	灯 火 （ ろ う そ く の 転 倒 ）			1	48	
	焼 却 炉 （ 飛 び 火 ）			1	0	
	火 入 れ （ 飛 び 火 ）			1	0	
放 火 ・ 放 火 の 疑 い		1	7,272	1	308	
調 査 中		7	60,866	10	70,525	
合 計		23	81,771	23	132,084	

建物用途別火災発生状況（火元）

（令和元年）

用途別 区 分	出 火 件 数					焼損面積 (㎡)	損 害 額 (千円)
	合 計	全 焼	半 焼	部分焼	ぼ や		
住 宅	5	3		1	1	263	12,969
物 置	2	2				193	11,065
倉 庫	2	1		1		63	2,949
住 宅（長屋）	2	1			1	79	1,531
納屋兼作業場	1	1				879	37,062
休 憩 施 設	1	1				147	15,148
店 舗 併 用 住 宅	1				1	0	112
共 同 住 宅	1				1	0	17
合 計	15	9	0	2	4	1,624	80,853

※件数及び用途別については火元用途による。



令和元年の救急概況

令和元年における救急の概況は、前年と比較して出動件数及び搬送人員とも減少した。

管内では1日平均9.4件の割合で救急隊が出動し、管内人口71,916人（令和元年12月1日現在）のうち約24人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

（１） 出動件数と搬送人員

出動件数は3,435件、搬送人員は2,995人で、これを前年と比較すると出動件数は152件、搬送人員は57人の減となった。

（２） 署所別出動及び搬送状況

署所別出動件数及び搬送人員では、気仙沼消防署が1,021件・896人で最も多く、出動件数全体の29.7%を占めている。次いで古町出張所が850件・747人、本吉分署 448件・413人、南三陸消防署 369件・337人、唐桑出張所 296件・253人、大島出張所 235件・156人、歌津出張所 216件・193人の順となっている。

（３） 事故種別出動及び搬送状況

事故種別では、出動件数及び搬送人員の最も多いのは、急病の2,347件・2,015人で出動件数全体の68.3%となっており、次いで一般負傷 428件・378人、その他（転院搬送等）358件・338人、交通事故 163件・162人となっている。この4種で出動件数全体の95.9%、搬送人員は96.5%を占めている。

（４） 月別、時間別出動及び曜日別搬送状況

月別出動件数では、1月が346件で最も多く、次いで11月・12月 324件、8月 318件の順となっている。

時間別出動件数は、8時～10時が 439件と最も多く、次いで10時～12時 429件、12時～14時 391件となっている。

曜日別搬送状況は、月曜日が 496人で最も多く、次いで金曜日 443人、木曜日 429人で最も少ないのが日曜日の379人となっている。

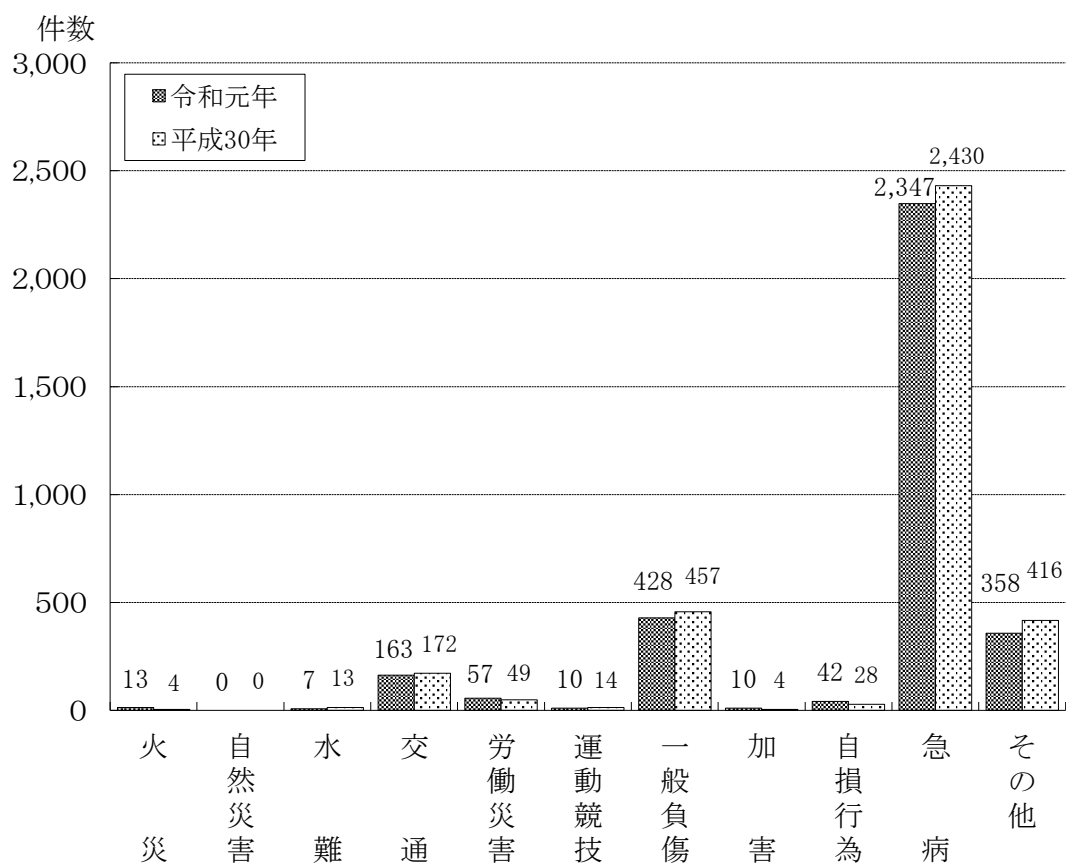
（５） 年齢別、傷病程度別搬送状況

年齢別搬送人員では、65歳以上の高齢者が2,077人（69.3%）と全体に占める割合が高く、この中で急病搬送が70.3%を占めている。

傷病程度別搬送状況は、中等症が1,392人（46.5%）で全体に占める割合が最も高く、次いで入院加療を必要としない軽症が1,081人（36.1%）となっている。

事 故 種 別 救 急 活 動 状 況

事故種別 区 分		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
元 年	出動件数	13		7	163	57	10	428	10	42	2,347	358	3,435
	搬送人員	3		4	162	54	9	378	7	25	2,015	338	2,995
30 年	出動件数	4		13	172	49	14	457	4	28	2,430	416	3,587
	搬送人員	5		4	180	48	12	382	2	19	2,034	366	3,052



署 所 別 事 故 別 活 動 状 況

署所別 \ 事故種別			火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
気 仙 沼	元年	出動件数	2		2	50	17	5	128	3	20	701	93	1,021
		搬送人員	1		1	51	16	4	115	2	12	603	91	896
	30年	出動件数	1		1	65	13	7	146	1	16	685	124	1,059
		搬送人員	1		1	67	13	6	128		11	615	120	962
古 町	元年	出動件数			1	50	17	3	111	4	6	598	60	850
		搬送人員			1	46	17	3	104	2	5	511	58	747
	30年	出動件数	2			39	21	2	123	2	4	652	86	931
		搬送人員	3			44	20	2	100	2	2	568	84	825
大 島	元年	出動件数	2		1	6	3		25	1	4	165	28	235
		搬送人員			1	5	3		13	1	2	116	15	156
		救急艇引継				1			6			20	13	40
	30年	出動件数				2			22			171	39	234
		搬送人員							3			36		39
		救急艇引継				2			17			114	39	172
唐 桑	元年	出動件数	2			16	2		35		2	238	1	296
		搬送人員				20	2		30		2	198	1	253
	30年	出動件数	1		2	12	3	2	45		2	224	13	304
		搬送人員	1			14	3	2	38		1	183	11	253
本 吉	元年	出動件数	7			19	4		67		5	284	62	448
		搬送人員	2			21	4		61		3	261	61	413
	30年	出動件数			3	28	6	1	48		2	260	62	410
		搬送人員			2	34	6		46		1	236	62	387
南 三 陸	元年	出動件数			1	13	6		34	1	3	214	97	369
		搬送人員			1	12	6		31	1	1	188	97	337
	30年	出動件数			2	12	4	1	49		2	282	78	430
		搬送人員				11	4	1	47		2	257	77	399
歌 津	元年	出動件数			2	9	8	2	28	1	2	147	17	216
		搬送人員				7	6	2	24	1		138	15	193
	30年	出動件数			5	14	2	1	24	1	2	156	14	219
		搬送人員			1	10	2	1	20		2	139	12	187
合 計	元年	出動件数	13		7	163	57	10	428	10	42	2,347	358	3,435
		搬送人員	3		4	162	54	9	378	7	25	2,015	338	2,995
	30年	出動件数	4		13	172	49	14	457	4	28	2,430	416	3,587
		搬送人員	5		4	180	48	12	382	2	19	2,034	366	3,052

・ 「救急艇引継」は「救急艇」又は「借上船」により他の救急隊に引き継いだ搬送人員。

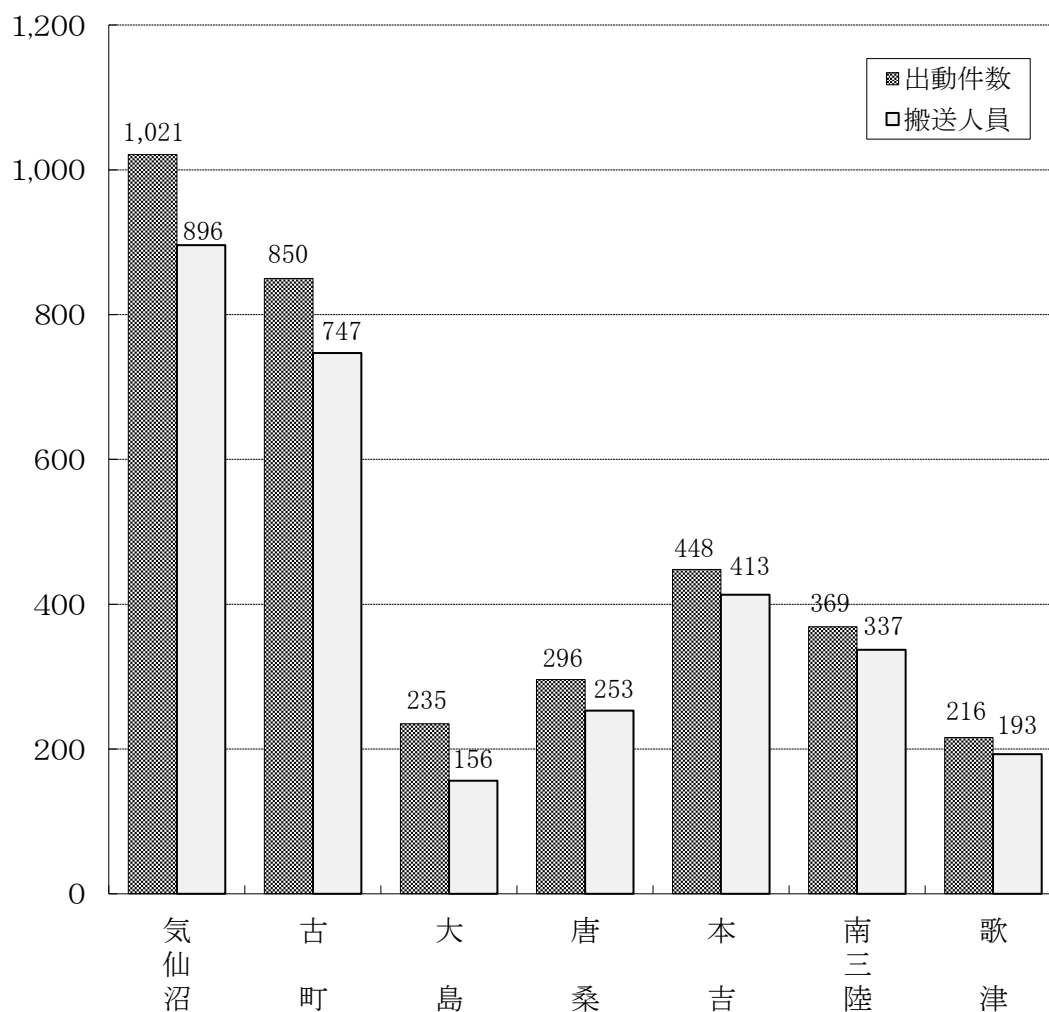
署 所 別 救 急 活 動 状 況

出動件数 3, 435件, 搬送人員 2, 995人に占める各署所の割合は,

気 仙 沼	1, 021件	29. 7%	896人	29. 9%
古 町	850件	24. 8%	747人	25. 0%
大 島	235件	6. 9%	156人	5. 2%
唐 桑	296件	8. 6%	253人	8. 4%
本 吉	448件	13. 0%	413人	13. 8%
南 三 陸	369件	10. 7%	337人	11. 3%
歌 津	216件	6. 3%	193人	6. 4%

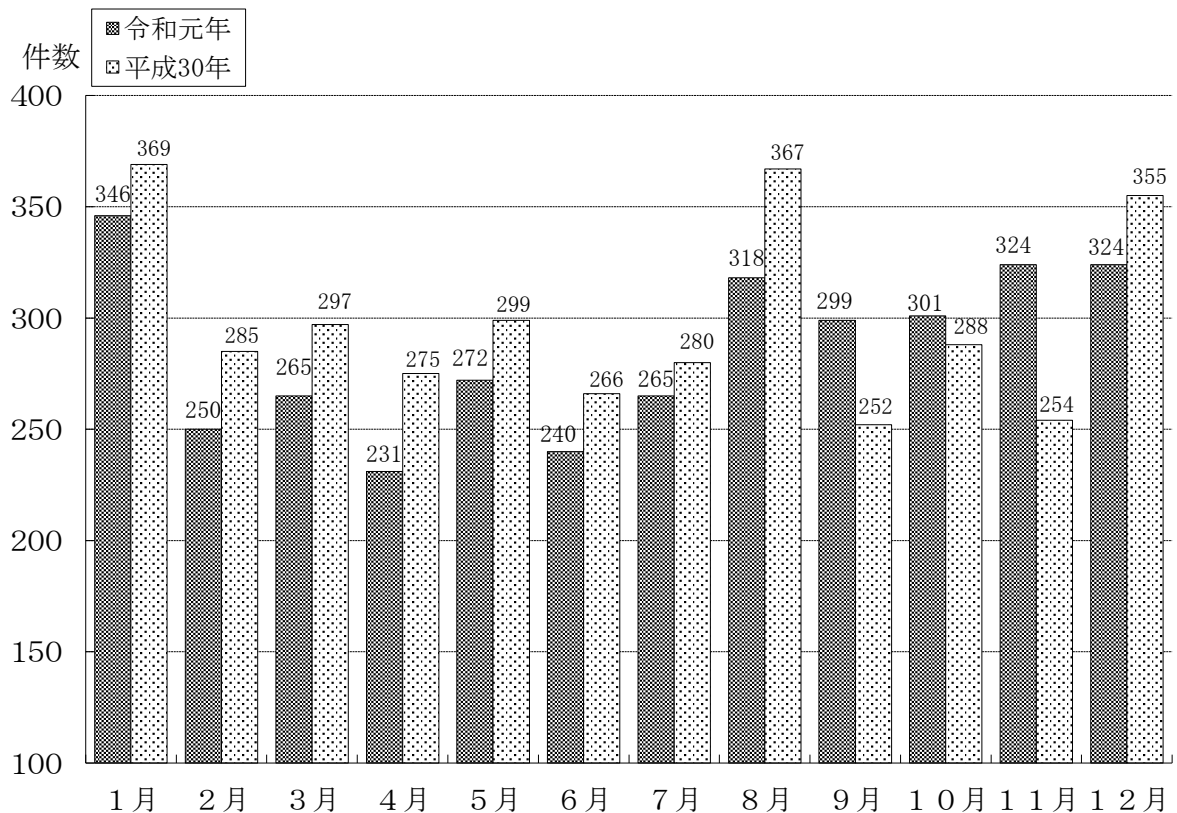
となっている。

件 : 人



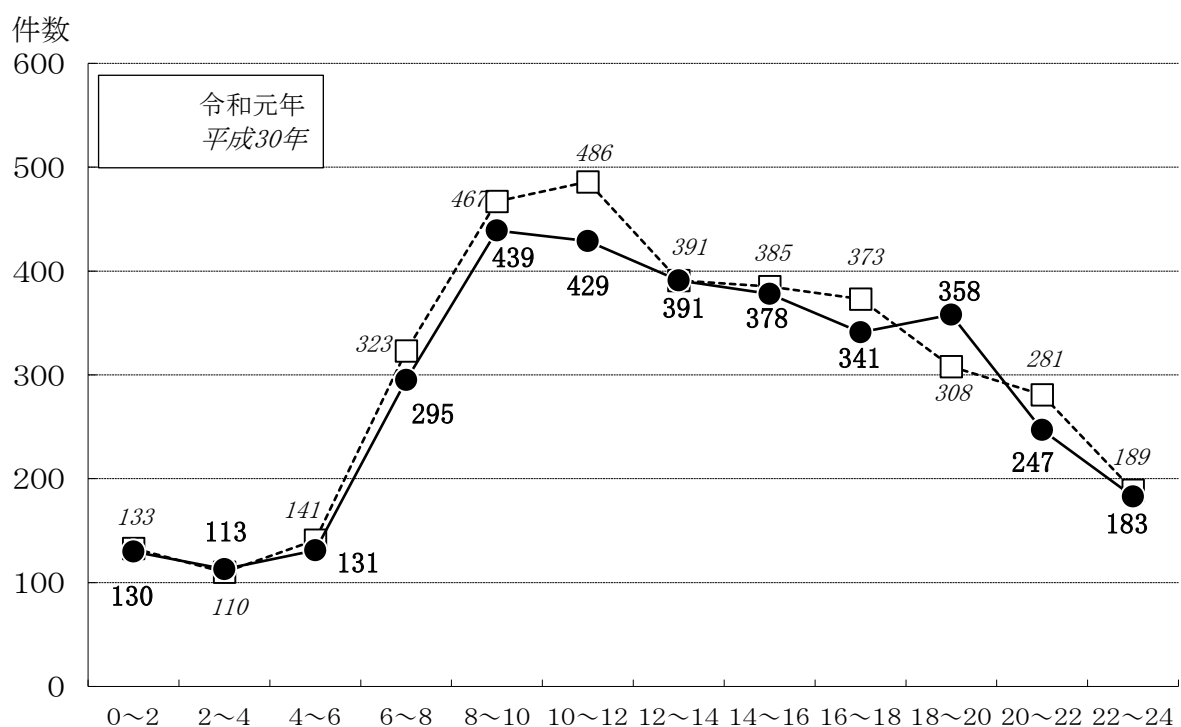
月 別 出 動 件 数

事故種別 月 別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1 月				12	6		47		5	232	44	346
2 月	1			10	6		37		4	163	29	250
3 月	1			13	2		28		2	193	26	265
4 月	4		1	16	3		19		3	158	27	231
5 月				13	1		27	2	8	194	27	272
6 月				10	4	1	21			175	29	240
7 月			3	9	7	3	38	2	5	177	21	265
8 月	1			13	11	3	65		2	201	22	318
9 月	1		1	16	2	1	38	2	8	201	29	299
10 月	1			14	6	1	32	1	2	217	27	301
11 月	2			19	6	1	39	2	2	216	37	324
12 月	2		2	18	3		37	1	1	220	40	324
合計	13		7	163	57	10	428	10	42	2,347	358	3,435



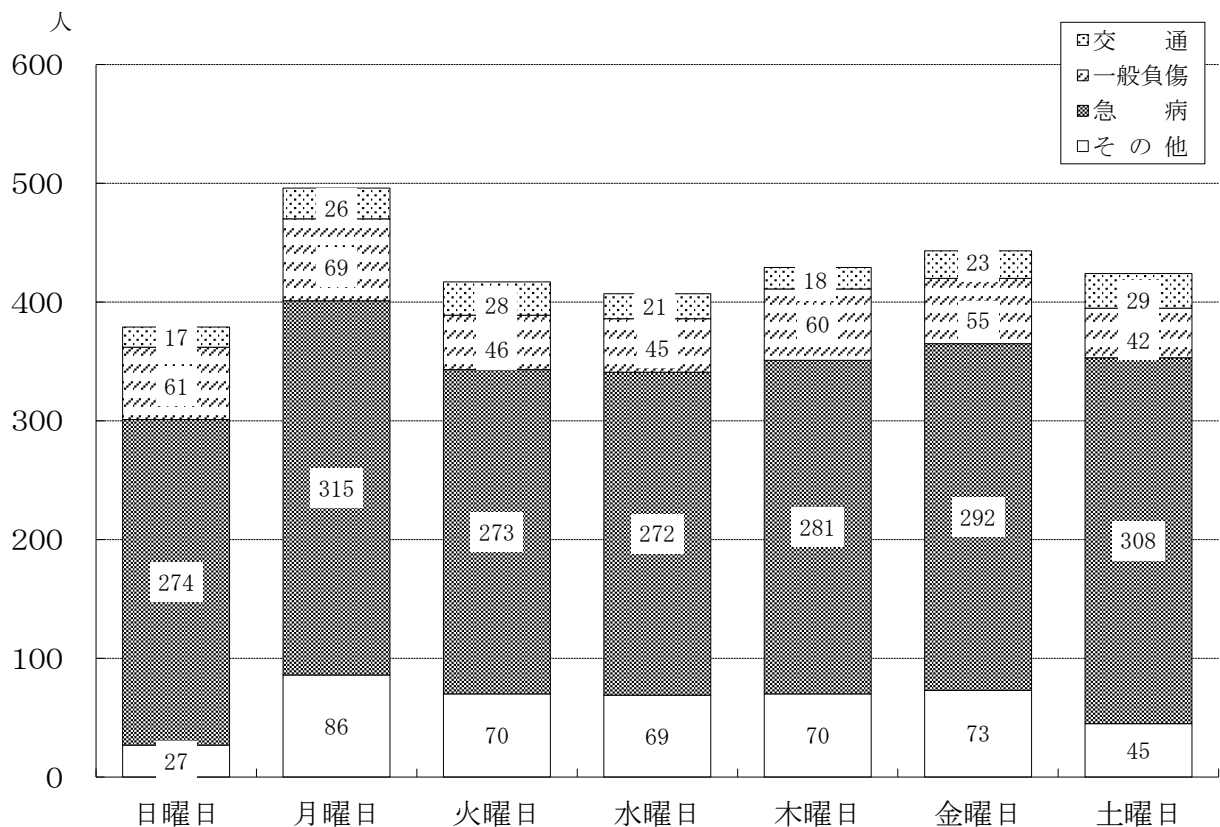
時 間 別 出 動 件 数

事故種別 時間別	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0～2	3			3	1		16		3	98	6	130
2～4				6			11	3	1	91	1	113
4～6				4	2		17	1		106	1	131
6～8			2	9	2		34	2	4	240	2	295
8～10	1		1	23	9		54		3	306	42	439
10～12	1		1	24	9	2	47		2	250	93	429
12～14	3			17	11	1	45	1	9	225	79	391
14～16			2	27	13	3	56		5	228	44	378
16～18				23	8	2	45	1	4	224	34	341
18～20	3			18	2	2	48		5	244	36	358
20～22	1		1	8			36	2	2	184	13	247
22～24	1			1			19		4	151	7	183
合計	13		7	163	57	10	428	10	42	2,347	358	3,435



曜 日 別 搬 送 人 員

事故種別 \ 曜 日	日	月	火	水	木	金	土	計
火 災		1				2		3
自 然 災 害								
水 難		1	1	1			1	4
交 通	17	26	28	21	18	23	29	162
労 働 災 害	1	11	12	11	8	7	4	54
運 動 競 技			1	3	2	2	1	9
一 般 負 傷	61	69	46	45	60	55	42	378
加 害	4	1	1				1	7
自 損 行 為	3	6	1	3	7	2	3	25
急 病	274	315	273	272	281	292	308	2,015
そ の 他	19	66	54	51	53	60	35	338
合 計	379	496	417	407	429	443	424	2,995



事 故 種 別 年 齢 区 分 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員 状 況

事故種別 区 分		火 災	自然 災害	水 難	交 通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自 損 行為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児	死 亡												
	重 症											1	1
	中等症											4	4
	軽 症												
	その他												
	計											5	5
乳 幼 児	死 亡												
	重 症										3	2	5
	中等症				2						11	3	16
	軽 症				2			5			28		35
	その他												
	計				4			5			42	5	56
少 年	死 亡												
	重 症									2	1		3
	中等症				1	1	2	1			20	5	30
	軽 症				10		4	7			17	1	39
	その他												
	計				11	1	6	8		2	38	6	72
成 人	死 亡									3	4		7
	重 症	1		1	7	4		2			38	13	66
	中等症				23	17	1	29	1	9	179	61	320
	軽 症				64	16	2	43	5	6	247	2	385
	その他					1				1	5		7
	計	1		1	94	38	3	74	6	19	473	76	785
高 齢 者	死 亡			1	1			9			79	1	91
	重 症			1	5	2		27			222	67	324
	中等症	2			11	4		140		1	709	155	1,022
	軽 症			1	33	9		110	1	3	445	20	622
	その他				3			5			7	3	18
	計	2		3	53	15		291	1	4	1,462	246	2,077
合 計	死 亡			1	1			9		3	83	1	98
	重 症	1		2	12	6		29		2	264	83	399
	中等症	2			37	22	3	170	1	10	919	228	1,392
	軽 症			1	109	25	6	165	6	9	737	23	1,081
	その他				3	1		5		1	12	3	25
	計	3		4	162	54	9	378	7	25	2,015	338	2,995

※ 傷病程度の区分で「その他」とは、医師の診断のないもの及びその他の場所へ搬送したものをいう。

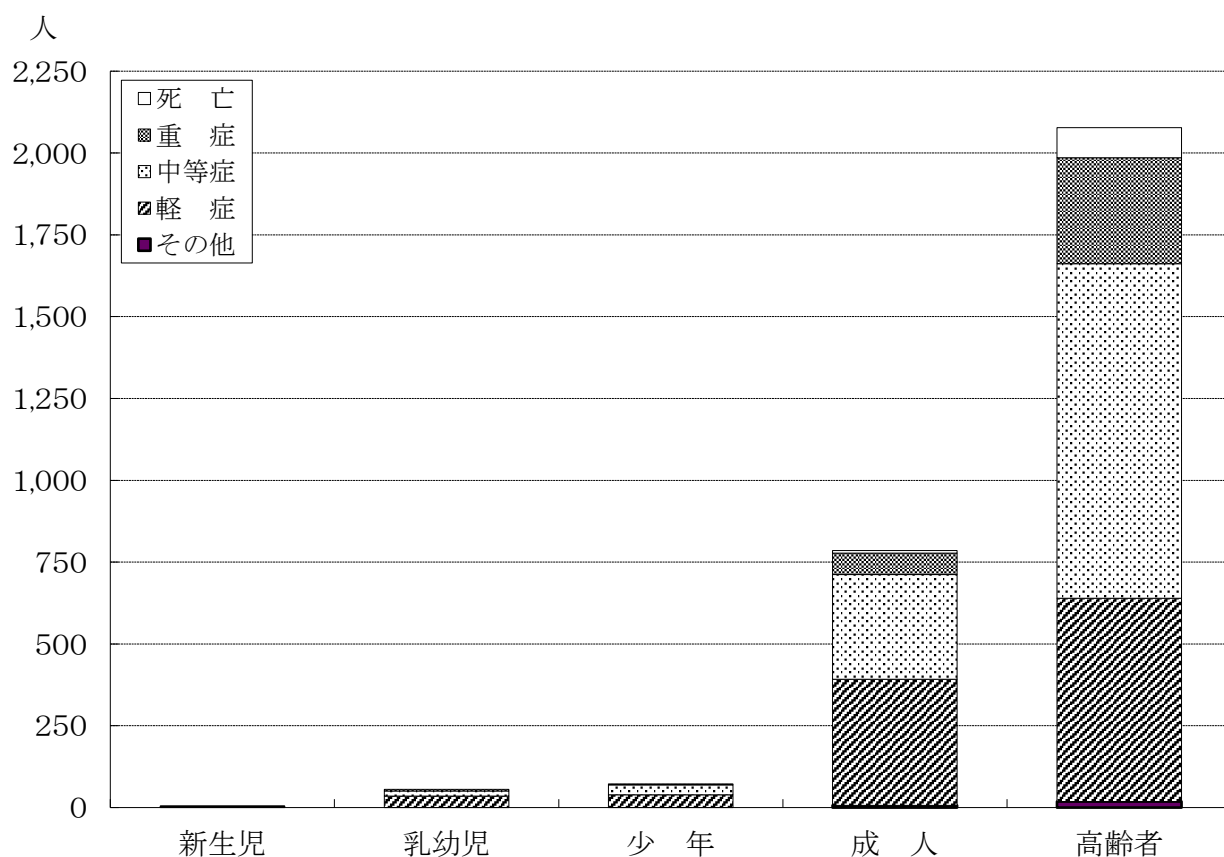
年 齢 区 分 別 搬 送 人 員

搬送人員 2, 9 9 5 人のうち

・ 新生児	〔生後 2 8 日未満〕	5 人	0. 2 %
・ 乳幼児	〔生後 2 8 日～7 歳未満〕	5 6 人	1. 9 %
・ 少 年	〔7 歳～1 8 歳未満〕	7 2 人	2. 4 %
・ 成 人	〔1 8 歳～6 5 歳未満〕	7 8 5 人	2 6. 2 %
・ 高齢者	〔6 5 歳以上〕	2, 0 7 7 人	6 9. 3 %

をそれぞれ搬送した。

年齢区分ごとの傷病程度は下記グラフのとおりとなっている。



医 療 機 関 別 搬 送 人 員

告示別	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		計	
	開設者別		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	
救急告示医療機関	国立		9	9	3	3	2	2	18	18	32	32
	公立		1,685	16	117	1	312	4	266	20	2,380	41
	公的		57	57	8	8	7	7	110	110	182	182
	私 的	病院	29	7	29		23		27	22	108	29
		診療所										
計			1,780	89	157	12	344	13	421	170	2,702	284
その他の医療機関	国立											
	公立		111		1	1	16		12	7	140	8
	公的											
	私 的	病院	89	1			4		6		99	1
		診療所	35		4		14		1		54	
計			235	1	5	1	34		19	7	293	9
計	国立		9	9	3	3	2	2	18	18	32	32
	公立		1,796	16	118	2	328	4	278	27	2,520	49
	公的		57	57	8	8	7	7	110	110	182	182
	私 的	病院	118	8	29		27		33	22	207	30
		診療所	35		4		14		1		54	
計			2,015	90	162	13	378	13	440	177	2,995	293
その他の場所	接骨院他											
	その他											
	計											
合計			2,015	90	162	13	378	13	440	177	2,995	293

その他の救急活動状況

覚知別出動状況

覚 知 別	出動件数
計	3,435
1 1 9 番	3,119
警 察 電 話	12
加 入 電 話	233
駆 け 付 け	43
そ の 他	28

不搬送理由

不 搬 送 理 由	出動件数
計	460
緊急性なし	28
傷病者なし	14
拒 否	9
酩 酊	3
死 亡	86
現 場 処 置	273
誤 報 ・ いたずら	13
そ の 他	34

診療科目別搬送状況

診 療 科 目 別	搬送人員
計	2,995
外 科	110
内 科	1,189
脳神経外科	485
循環器科	273
呼吸器科	125
消化器科	97
整形外科	438
小 児 科	72
泌尿器科	53
産 婦 人 科	21
精神神経科	31
耳鼻咽喉科	58
眼 科	5
皮 膚 科	9
救命センター	9
そ の 他 の 科	20
その他の場所	0

その他の統計

種 別	出動件数
転 院 搬 送	351
転 送	23
医 師 ・ 資 機 材 搬 送	1
ドクターヘリ 連 携	17
現場救急	15
転院搬送	2

※ 転院搬送：医療機関からの要請に応じて当該医療機関の管理下にある傷病者を他の医療機関へ搬送すること。

※ 転 送：医療機関に搬送し医師に引き継いだものの、当該医療機関の事情等により他の医療機関に同一の救急隊が搬送すること。

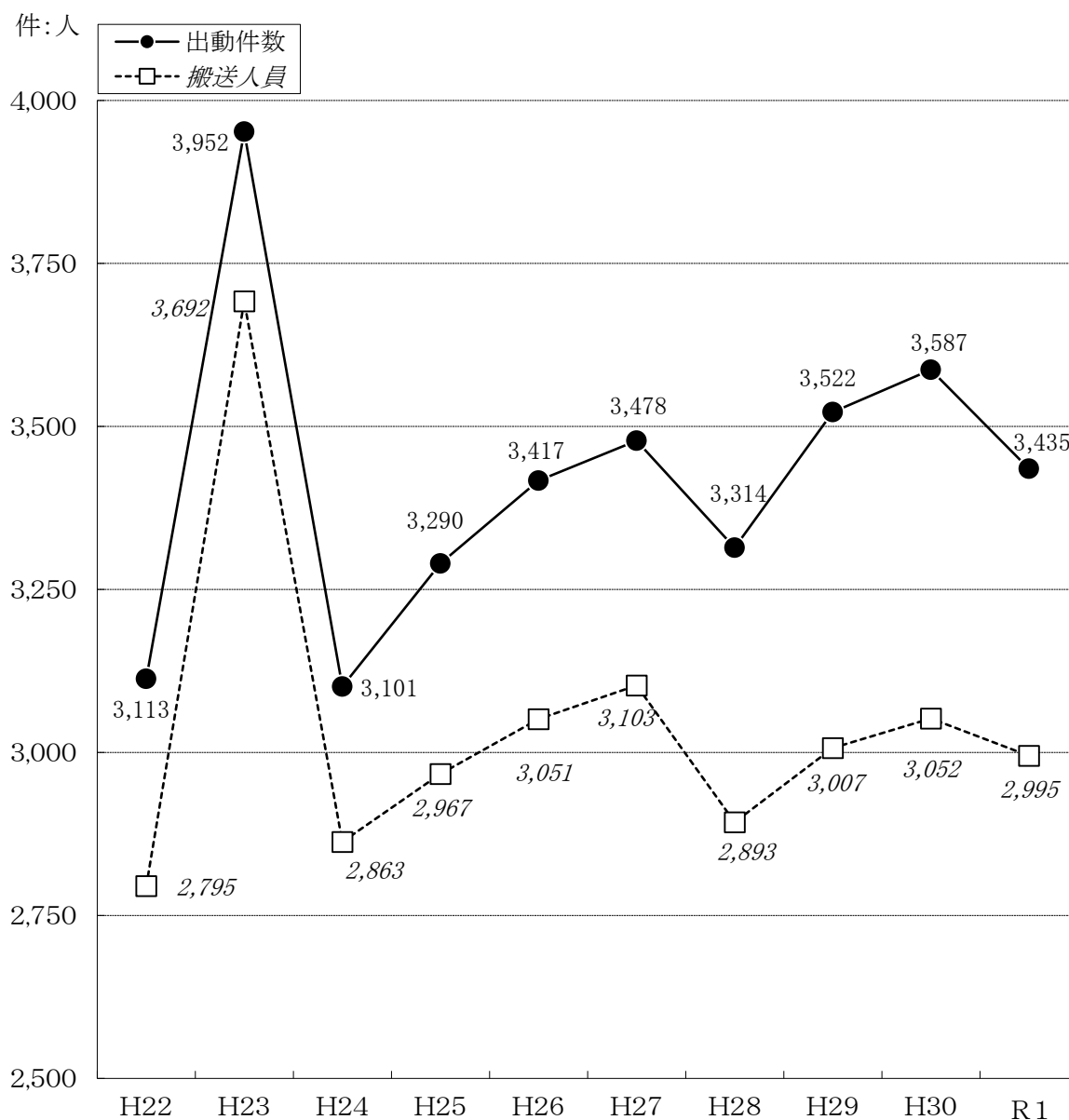
※ ドクターヘリ：平成28年10月28日より運航開始。通報時又は、救急現場から要請したものを「現場救急」、医療機関からの要請による病院間搬送を「転院搬送」という。

過去10年間の救急活動の推移

令和元年の救急活動は、平成22年を基準とした場合、出動件数・搬送人員とも増加している。

過去10年間は出動件数・搬送人員ともに増加傾向だったが、平成23年は東日本大震災により出動件数・搬送人員とも大幅に増加した。

平成24年以降は、出動件数・搬送人員とも増加傾向で推移したが、平成28年以降、3年ぶりに減少した。

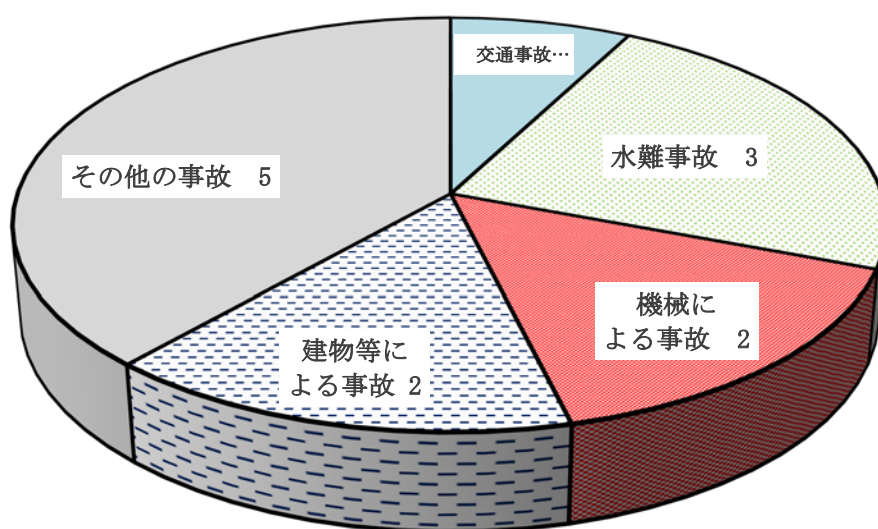


事故種別救助活動状況

事故種別 件数区分		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 自 然 災 害 等 害	機 械 事 故	建 物 等 事 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
		建 物	建 物 以 外									
令和元年	出 動 件 数			7	4		2	2			6	21
	活 動 件 数			1	3		2	2			6	14
	救 助 人 員			1	3		2	2			5	13
平成30年	出 動 件 数			16	6		3	4			5	34
	活 動 件 数			5	4		1	2			4	16
	救 助 人 員			5	4		1	2			4	16

※ 水難事故4件のうち3件に、「水難救助隊」が出動し、活動している。

事故種別救助人員

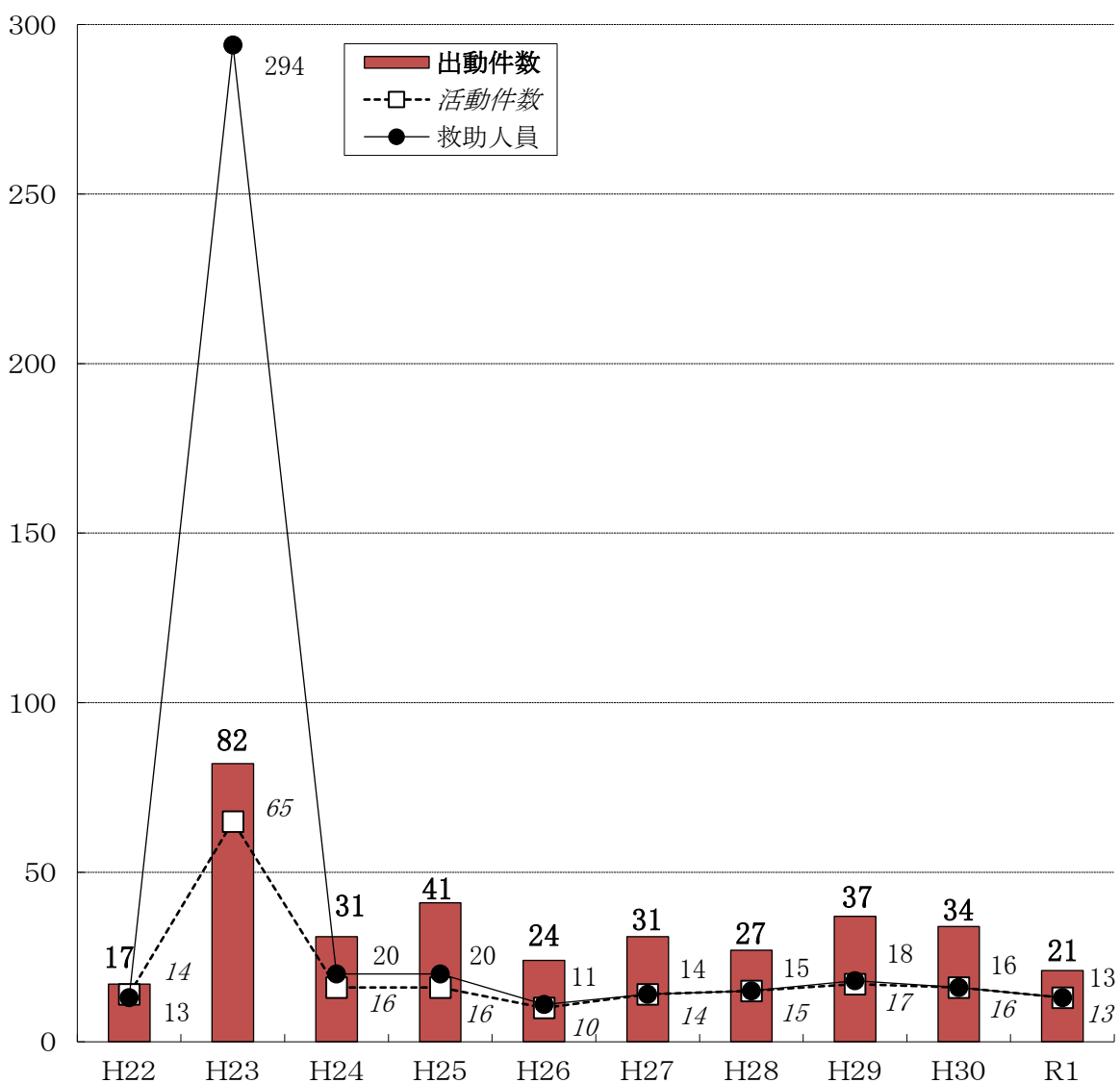


過去10年間の救助活動の推移

過去10年間は、若干の増減を繰り返しながら推移しているが、平成23年は東日本大震災により出動件数・活動件数・救助人員とも大幅に増加した。

令和元年の救助活動は、平成23年を除いた過去の件数と比較すると、昨年までは出動件数・活動件数ともほぼ横ばいで推移したが、若干減少した。

件:人



防災センター



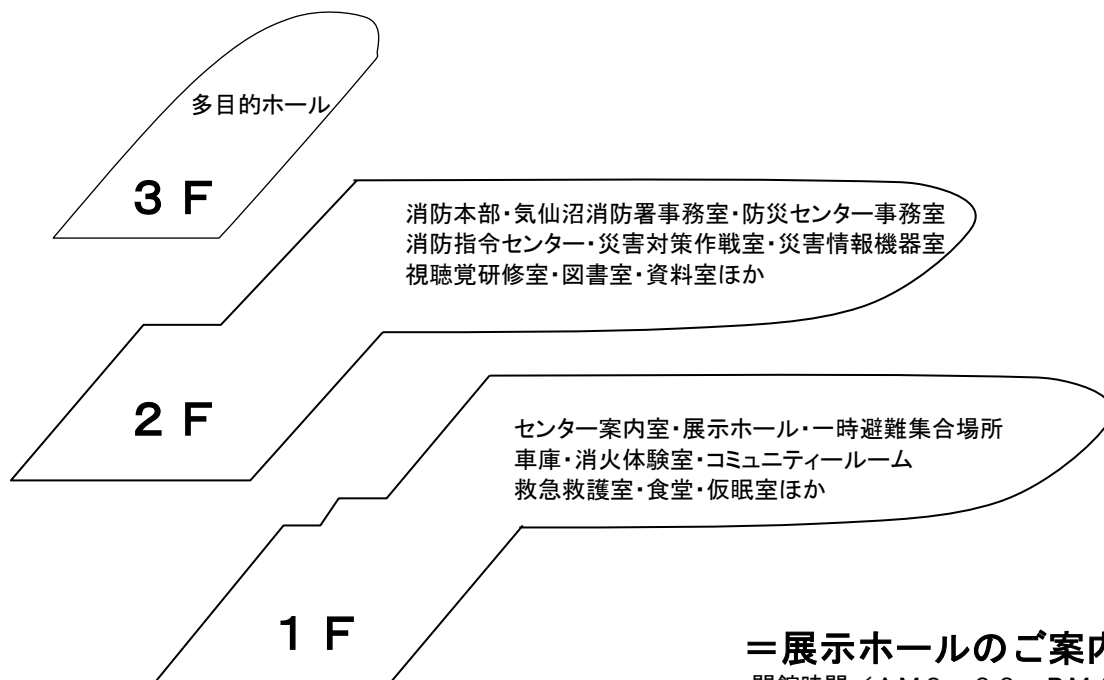
展示ホール(地震体験)

防 災 セ ン タ ー の 概 要

「気仙沼・本吉広域防災センター」は、消防本部・消防署との合築の施設で国土庁と宮城県の補助を受け、平成6年4月1日にオープンしました。

平常時は、地震・煙・消火等の体験学習や各種展示を通じて防災行動力・防災知識等の向上を図ります。

また、災害時には、災害対策活動の拠点として1市1町や関係機関等への情報提供や連絡調整等を行う一方、一次避難場所等としても利用されます。

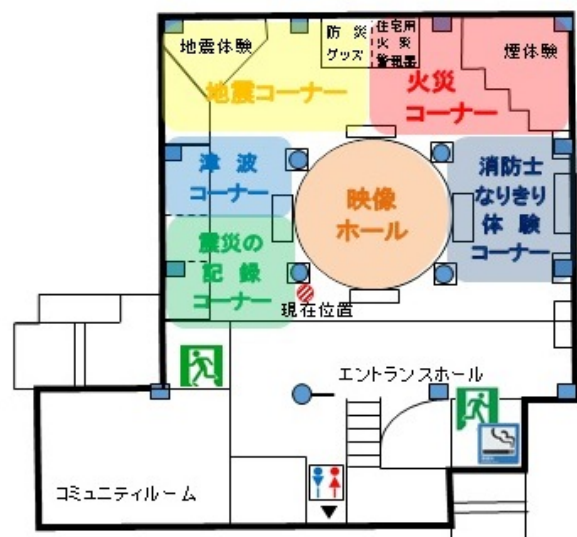


その他、敷地内には災害時に備えた備蓄倉庫、訓練塔があります。

= 展示ホールのご案内 =

開館時間／AM9：00～PM4：00

休 館 日／月曜日・年末年始(12/28～1/7)



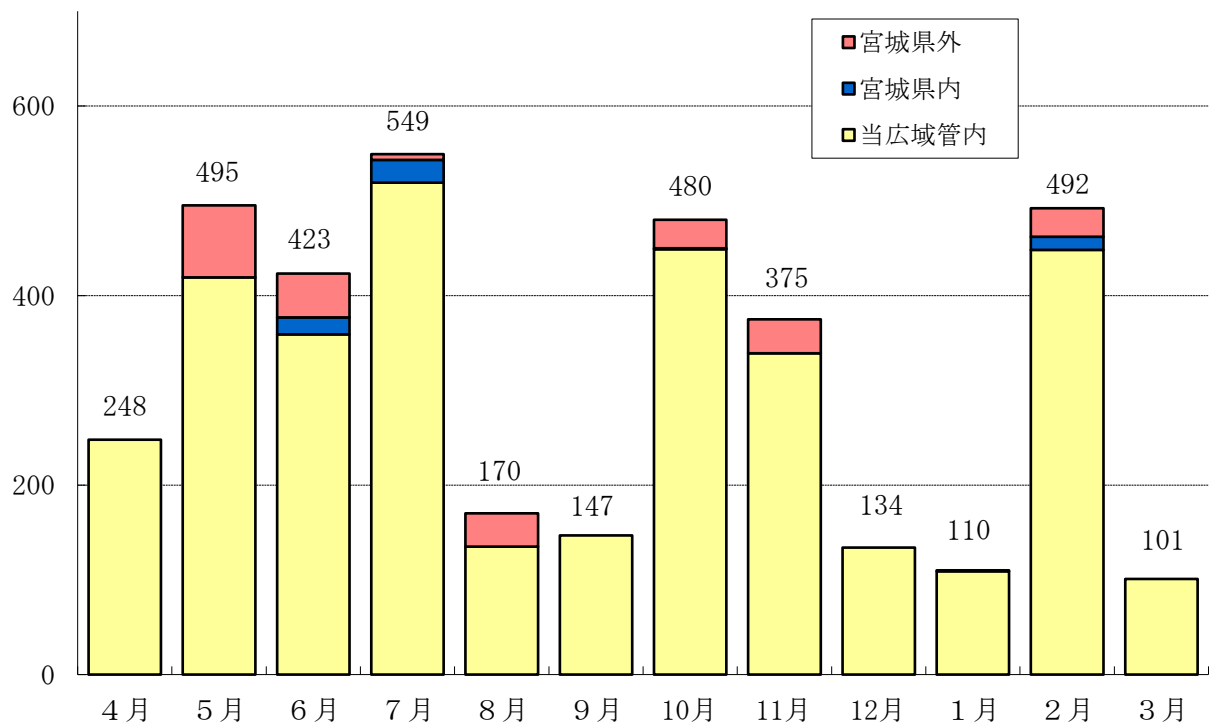
■センター概要

- 敷地面積／5,225.02㎡ 延べ床面積／2,981.4㎡
(他に、備蓄倉庫／299.95㎡、訓練塔／299.75㎡)

月 別 ・ 地 域 別 利 用 状 況

(令和元年度) (単位：人)

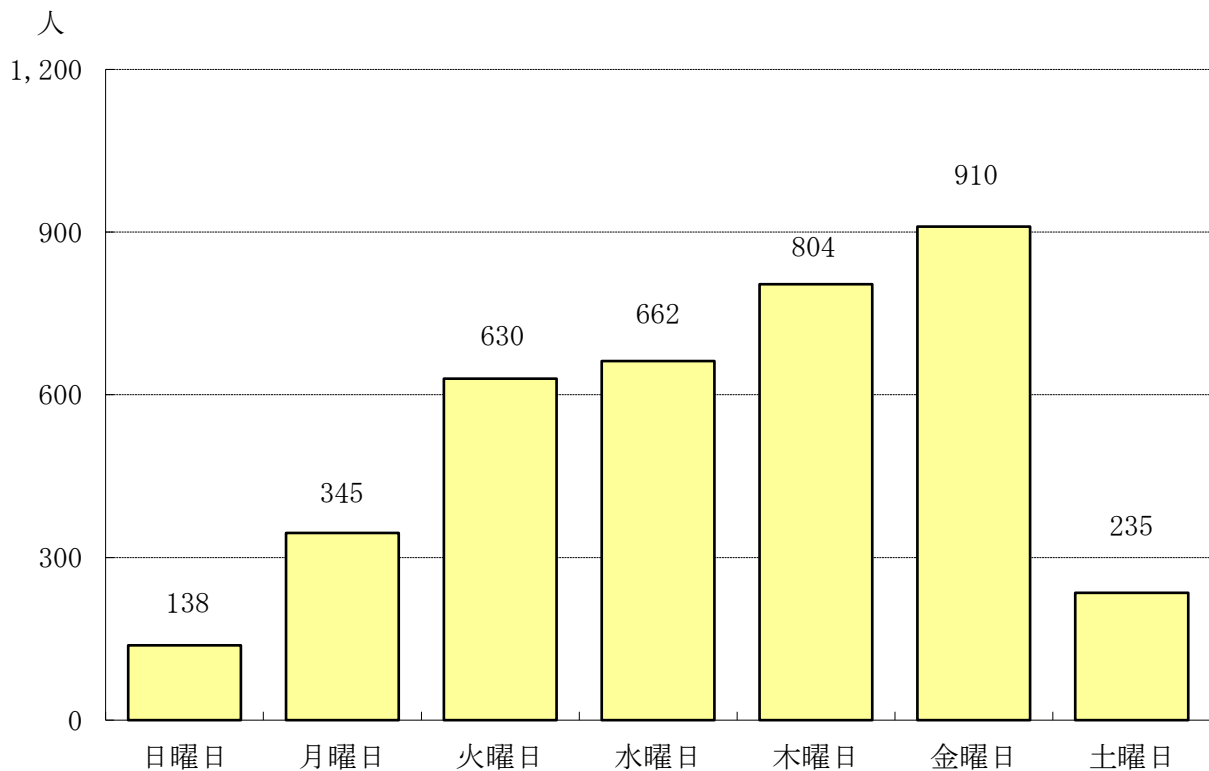
	当 広 域 管 内	宮 城 県 内	宮 城 県 外	合 計
4 月	248			248
5 月	419		76	495
6 月	359	18	46	423
7 月	519	24	6	549
8 月	135		35	170
9 月	147			147
10 月	449	1	30	480
11 月	339		36	375
12 月	134			134
1 月	109	1		110
2 月	448	14	30	492
3 月	101			101
合 計	3,407	58	259	3,724
30年度計	4,331	35	226	4,592
前年度比較	△ 924	23	33	△ 868
開館以来累計	171,320	10,962	16,044	198,326



月 別 ・ 曜 日 別 利 用 状 況

(令和元年度) (単位：人)

	日	月	火	水	木	金	土	合 計
4 月		3	86	57	45	57		248
5 月	18	48	75	117	149	84	4	495
6 月	25	26	44	53	128	34	113	423
7 月	24	35	30	204	165	61	30	549
8 月			21	56	9	46	38	170
9 月	11		42		48	26	20	147
10 月	3	120	20	27	50	257	3	480
11 月			144	41	38	141	11	375
12 月	2	23		9	73	27		134
1 月	1	10	26	10	7	56		110
2 月	42	26	123	82	92	111	16	492
3 月	12	54	19	6		10		101
合 計	138	345	630	662	804	910	235	3,724
30年度計	396	686	991	463	989	850	217	4,592
前年度比較	△ 258	△ 341	△ 361	199	△ 185	60	18	△ 868
開館以来累計	25,795	20,111	32,338	34,608	37,035	35,523	12,916	198,326



利 用 者 別 状 況

(令和元年度)

団 体 名 等	団 体 数	人 数
幼 年 消 防 ク ラ ブ	2	26
少 年 消 防 ク ラ ブ	1	54
婦 人 防 火 ク ラ ブ	5	101
危険物安全協会・防火管理者協会	8	170
消 防 団	19	573
行 政 機 関	69	1,634
各 種 団 体 等	1	21
救 急 救 命 指 導 講 習	24	256
上 記 以 外 (見 学 ・ 体 験 等)	—	889
合 計	129	3,724

主 な 備 蓄 品

(令和2年3月31日現在)

品 名	数 量	備 考
毛 布	280枚	
布 団	25組	
ポ リ 容 器	100組	
非 常 食	3,952食	乾パン (512) , アルファ米 (1,700) , ビスケット (1,740)
飲 料 水	960本	500ml
応 急 処 置 セ ッ ト	6セット	
担 架	7台	
防 災 ト イ レ	1基	
既設トイレ用簡易トイレ	1000回分	
シ ー ト	45枚	大 (10m×10m) 15, 中30
タ オ ル	200枚	
軍 手	6ダース	
メ ガ ホ ン	5個	サイレン付き
防 災 リ ヤ カ ー	4台	ワンタッチ(2), 折りたたみ(1) 救護車担架付(1)
ア ル ミ カ ー ト	2台	折りたたみ式
災 害 ツ ー ル	1式	

※備蓄品については、年次計画により購入。

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合消防本部

〒988-0104

宮城県気仙沼市赤岩五駄鱈43番地2

TEL 0226-22-6688

FAX 0226-22-0119

メール soumu@km-fire.jp